

鳥居龍蔵の鹿児島調査関係スケッチ帳

下田 順一・大原 賢二

はじめに

徳島県立鳥居龍蔵記念博物館（以下「当館」）は、考古資料や、書籍類、スケッチ、写真、拓本等、多岐にわたる多様な資料を収蔵している。これらの大半は鳥居龍蔵自身や妻子にかかわるもので、当館の学芸業務における最大の柱として、整理及び調査を継続している。その成果を企画展・特別陳列、常設展内のトピックコーナー、『研究報告』第1号などにおいて公表し、館蔵資料ができるだけ広く活用されるよう取り組んできた。

ここでは、そうした整理業務の中で見いだされた資料として、鳥居龍蔵による鹿児島調査に関するスケッチのうちの一部を紹介したい。すでに企画展「鳥居龍蔵の国内調査—沖縄・南九州—」（会期：2014年1月25日～3月2日）で展示したことがあるが（徳島県立鳥居龍蔵記念博物館編 2014）、写真を掲載することで、今後の利用の便を図りたいと考えるものである。

1 鳥居龍蔵の鹿児島調査

鳥居龍蔵は、2度にわたって鹿児島で本格的な調査を行った。第1回は、1929（昭和4）年6月24日から27日までの間、巨石遺跡や山陵などの調査を行ったものである。同年5月4日から7月8日まで、妻のきみ子と共に行った大分県や宮崎県での調査の一環であった（鳥居 1929）。

第2回は、鹿児島県からの依頼により、1930年3月3日から21日まで行った調査で、各地を訪ねた本格的なものであった。同行した娘の幸子が、主として遺跡や遺物等のスケッチを行った。また、鹿児島県側からは、竹下教育主事が全日程随行したほか、山崎五十磨（県史跡専門委員）が案内を兼ねて日程の前半を中心に随行して協力した。さらに、地元の新報から、学校や研究者等が、資料の提供や採拓等への協力をしたことが分かる。

第2回調査の行程や成果については、鳥居龍蔵・幸子の報告、同行取材した鹿児島新聞などの記事から明らかにされている（鳥居 1930、池畑 2014）。概要は次のようなものである。3月1日、東京を出発。3月3日に鹿児島市に到着。3月4日、県立図書館で、調査日程の打ち合わせ。21日まで鹿児島県内での調査。また、鹿児島県内各地での調査期間中、講演会も精力的に行った。鳥居の鹿児島での調査対象は、縄文時代、弥生時代、古墳時代と歴史時代の遺跡と遺物、さらに巨石遺跡（ストーンサークルやメンヒル、ドルメン等）であった。特に鳥居は、自らの日本人起源研究に基づき、縄文時代の遺跡・遺物をアイヌのものとし、弥生時代の遺跡・遺物と巨石遺跡を固有日本人のものとした上で調査・研究を進め、自説の補強に用いた（徳島県立鳥居龍蔵記念博物館編 2014）。

2 当館所蔵の鹿児島調査関係資料とスケッチの概要

当館が所蔵する鹿児島調査関係資料は、館蔵資料整理の過程で多数確認されており、スケッチ、土器等の拓本、写真、地形図、講演会に使用した略地図、書籍等がある。これらの整理作業を進める過程で、日付や場所などが記載された資料が多数あったことから、筆者らのうち大原が、鹿児島県の地元新聞記事や、現地の現況写真を撮影し、これらをもとにして詳細に検討していくことにより、鳥居の調査行程等が明確になってきた（図1）。また、考古資料に関しては、地元の研究者である池畑耕一

氏（鹿児島考古学会副会長）の協力を得て整理・検討を進めることができた。同氏の御厚意に深く感謝するものである。

以上のような資料のうち、スケッチは、先述のように鳥居幸子によるもので、帳面1冊と3つの束となっている。調査を行った場所や描写された資料の所蔵場所はもとより、日付・時間等のメモが記載されているものが少なくない。また、使用されている筆記用具は基本的に鉛筆であるが、ペン入れがされたものもあり、これらは鳥居が調査成果をまとめる際の図版版下として使用するために作成されたとみられる。さらには、唐仁大塚古墳の竪穴石室内の平面図のように、現在では確認ができない遺跡に関する貴重な資料も含まれている。

以下においては、帳面1冊に収められたスケッチを図版として紹介する。内容等については一覧表として末尾に掲載した（表2）。多数あるスケッチの中でこれを選んだのは、帳面というまとまった形であること、鹿児島市に到着後の調査に係るもので、第2回調査の最初期の記録であることによる。残る3束の紹介は、他日を期したい。

表1 鳥居龍蔵の鹿児島県調査年表

年	月	日	鹿児島県内の主な調査地・調査内容
1929	6	25	<湧水町> 栗野嶽などの巨石遺跡
		26	<鹿屋市> 始良山陵 <薩摩川内市> 新田神社、可愛山陵
		27	<霧島市> 隼人塚、高屋山陵
1930	3	4	<鹿児島市> 唐湊二本松の遺跡、磯庭園（反射炉跡・尚古集成館）
		5	<始良市> 帖佐の天福寺旧跡、加治木の柁城校所蔵の遺物 <霧島市> 隼人塚、大隅国分寺、鹿児島神宮、
		6	<湧水町> 稲葉崎の五輪塔、板碑 <伊佐市> 菱刈小学校付近から採集された遺物など、菱刈小学校の地下式古墳、大口小学校付近から採集された遺物など、諏訪野の地下式古墳2基、諏訪神社の仏像
		7	<霧島市> 高屋山陵 <曾於市> 住吉神社裏の住吉山のメンヒル
		8	<曾於市> 住吉神社の古墳を発掘調査（3箇所のうち2箇所は何もなし）
		9	<曾於市> 檜神社所蔵の遺物 <志布志市> 松尾城跡、山宮神社の鏡など、志布志中学校付近から採集された遺物など
		10	<志布志市> 志布志小学校の遺跡 <大崎町> 大崎小学校で保管されていた遺物など、都萬神社の鏡、横瀬古墳 <東串良町> 唐仁古墳群
		11	<鹿屋市> 吾平小学校の地下式横穴墓、吾平山陵 <肝付町> 塚崎古墳群
		12	<垂水市> 柁原貝塚、福山中学校付近から採集された遺物など
		13	<指宿市> 橋牟礼川遺跡、枚間神社、下仙田遺跡、徳光神社、玉の井、開聞小学校付近から採集された遺物など
		14	<南さつま市> 一条院跡、坊津小学校所蔵の遺物、広泉寺の仏像、大浦小学校付近から採集された遺物など、竹屋神社の巨石遺跡
		15	<南さつま市> 黒江家所蔵の遺物、大山津見神社の巨石遺跡、貝殻崎 <いちき串木野市> 第二師範学校の市来貝塚資料 <薩摩川内市> 新田神社、中陵の古墳、端陵の古墳
		16	<薩摩川内市> 若宮遺跡、薩摩国分寺跡、安養寺麓の古墳
		17	<出水市> 出水貝塚、出水中学校付近から採集された遺物など
		18	<鹿児島市> 鹿児島県立図書館で講演
		19	<南九州市> 豊玉姫神社 <南さつま市> 竹屋神社所蔵の遺物と、ドルメンとストーンサークル
		20	<霧島市> 京塚の巨石遺跡、林家所蔵の遺物
		21	<鹿児島市> 鹿児島県立図書館所蔵の遺物

※年表内の調査地は、現在の市町村名である。

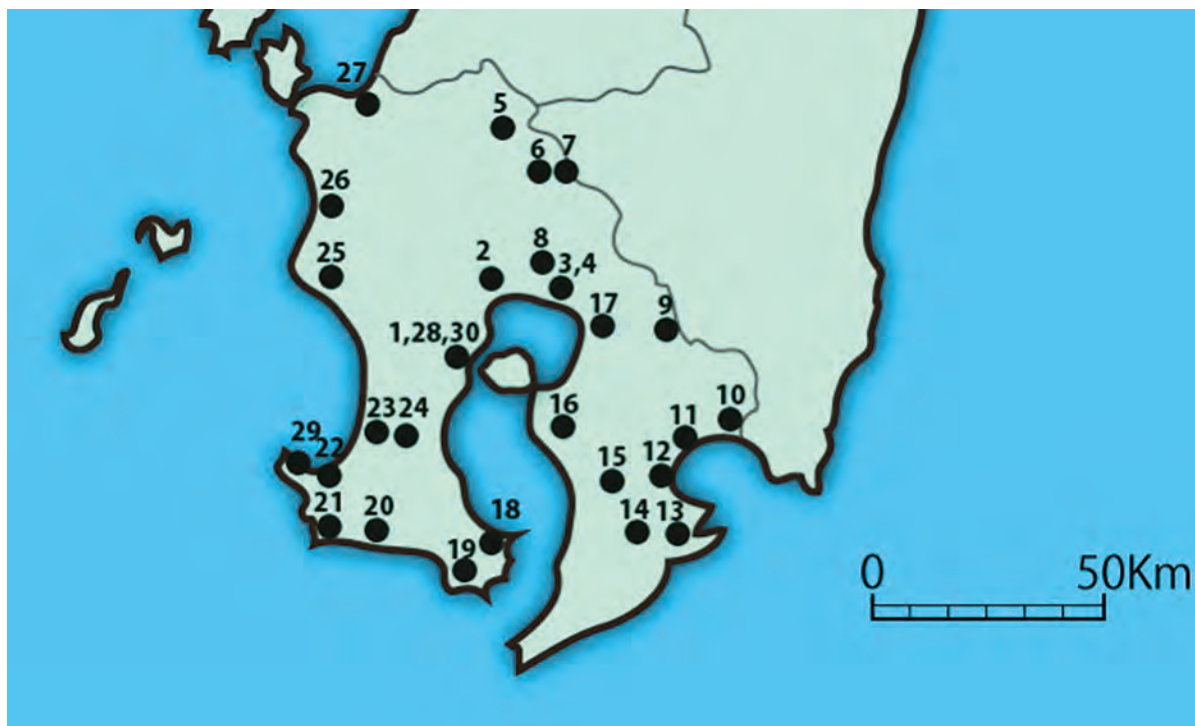


図1 鳥居龍蔵の1930年の鹿児島県内調査地図

1, 28, 30鹿児島市〔鹿児島市〕 2帖佐町〔始良市〕 3, 4隼人町と国分町〔霧島市〕 5大口町〔伊佐市〕
 6菱刈町〔伊佐市〕 7栗野町〔湧水町〕 8溝辺村〔霧島市〕 9末吉町〔曾於市〕 10志布志町〔志布志市〕
 11大崎村〔大崎町〕 12東串良村〔東串良町〕 13高山村〔肝付町〕 14始良村〔鹿屋市〕 15鹿屋町〔鹿屋市〕
 16垂水町〔垂水市〕 17福山町〔霧島市〕 18指宿村〔指宿市〕 19顛娃村〔指宿市〕 20枕崎町〔枕崎市〕
 21西南方村坊津〔南さつま市〕 22笠沙村大浦〔南さつま市〕 23万世町〔南さつま市〕 24阿多村〔南さつま市〕
 25西市来村〔いちき串木野市〕 26川内町〔薩摩川内市〕 27出水町〔出水市〕 29笠沙村〔南さつま市〕
 (地図中の番号は、調査の順番を示す。地図下には、調査当時の市町村名を、□内は現在の市町村名を記載した。)

参考文献

池畑耕一 2014 「鹿児島県考古界の先人たち (8)」『鹿児島考古』第44号
 徳島県立鳥居龍蔵記念博物館編 2014『鳥居龍蔵の国内調査－沖縄・南九州－』徳島県立鳥居龍蔵記念博物館
 鳥居龍蔵 1929 「南九州通信」『武蔵野』第14巻第1号
 鳥居龍蔵 1930 「薩隅肥通信」『武蔵野』第15巻第4号



図1 スケッチブックの表紙

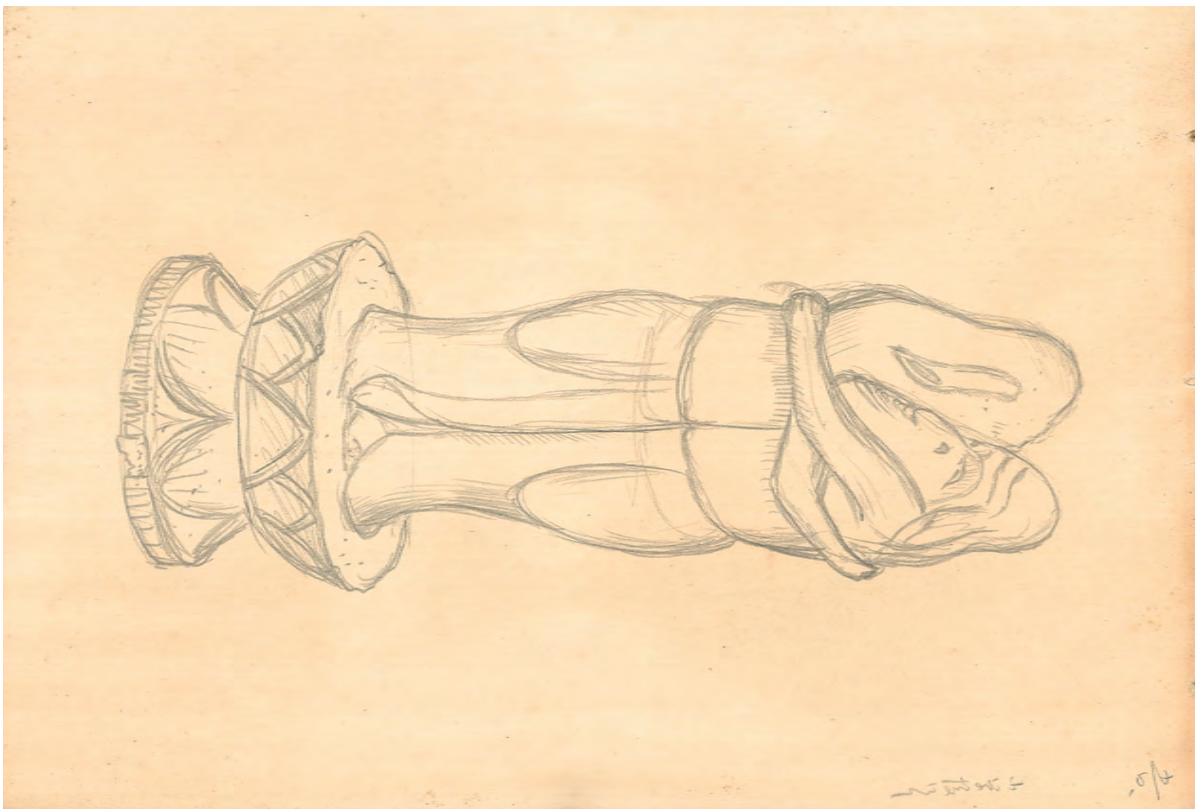


図2 歓喜天蔵像

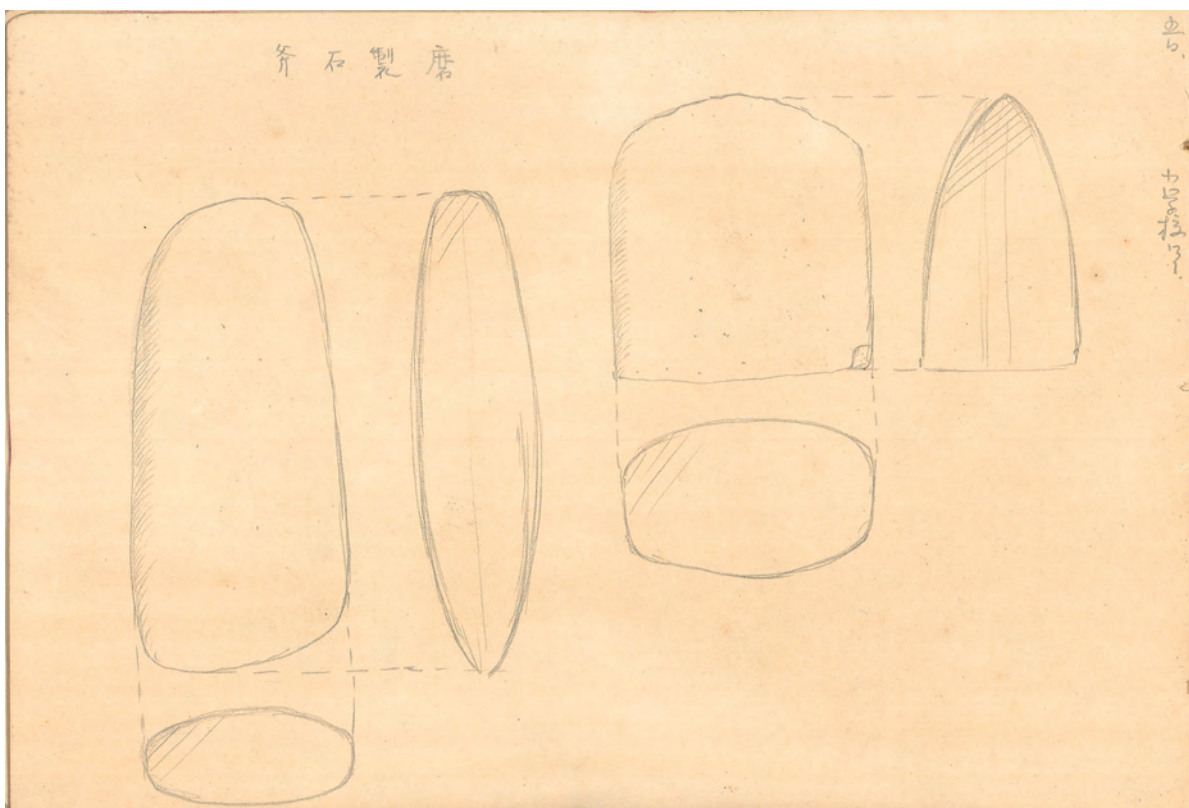


図3 磨製石斧

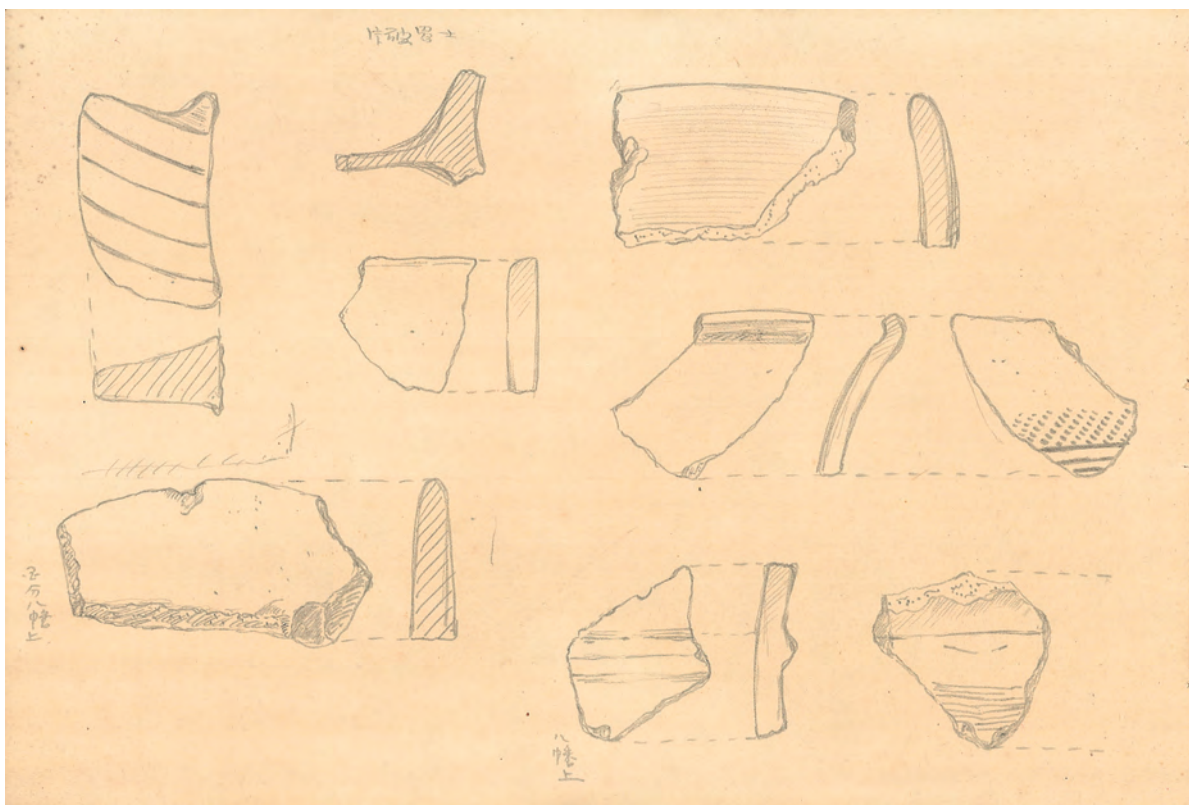


図4 縄文土器, 打製石斧 (?)

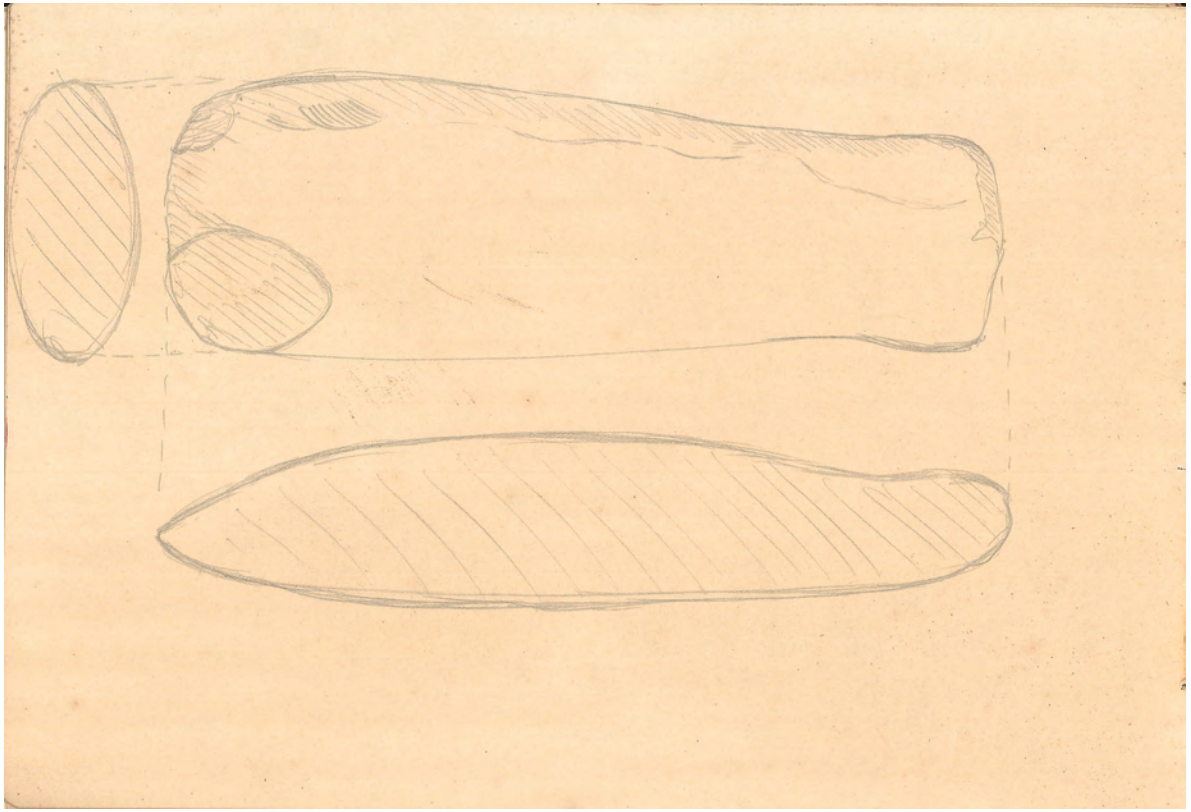


図5 磨製石斧 (丸ノミ?)

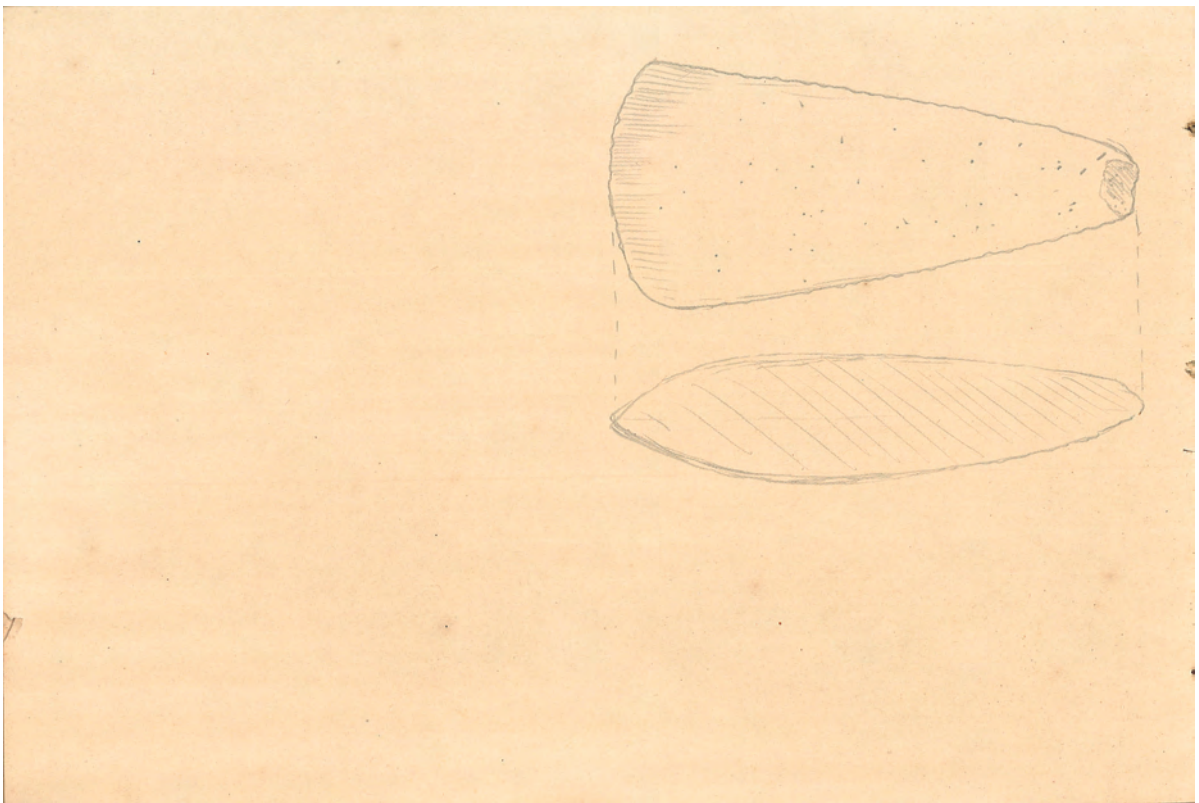


図6 磨製石斧

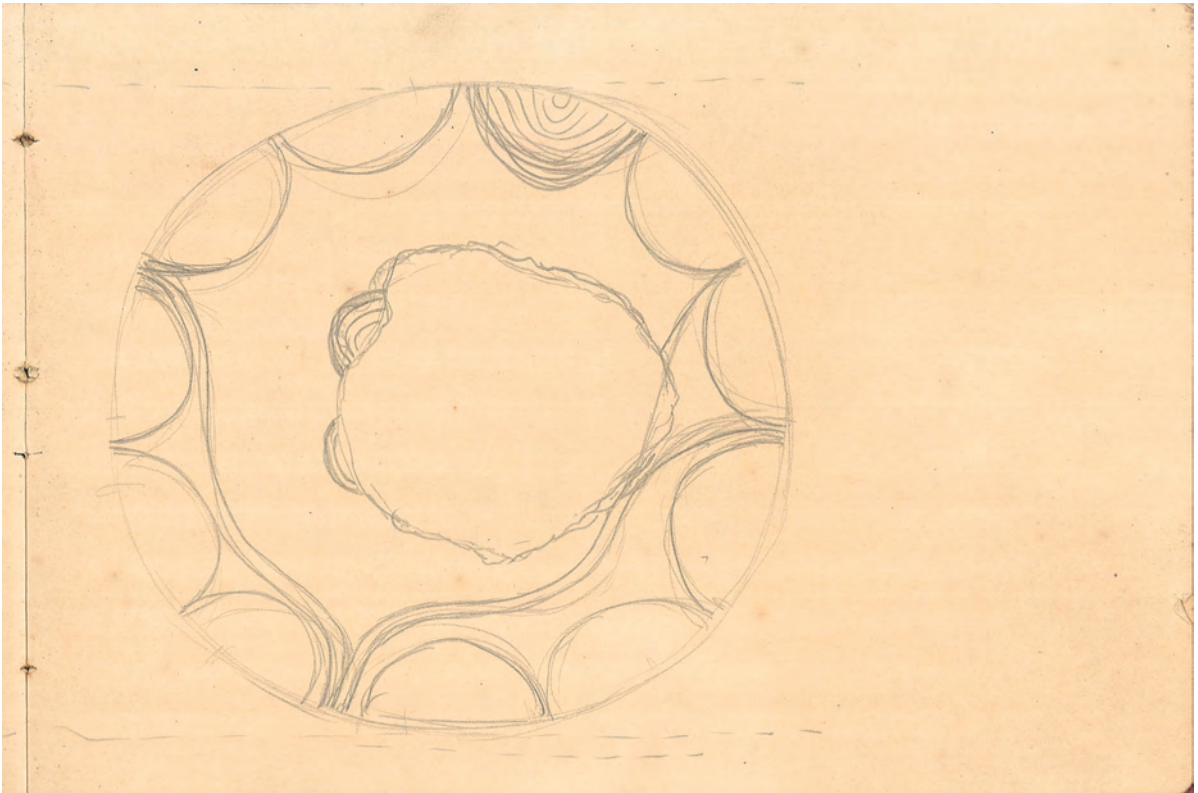


図7 免田式土器（壺）俯瞰図

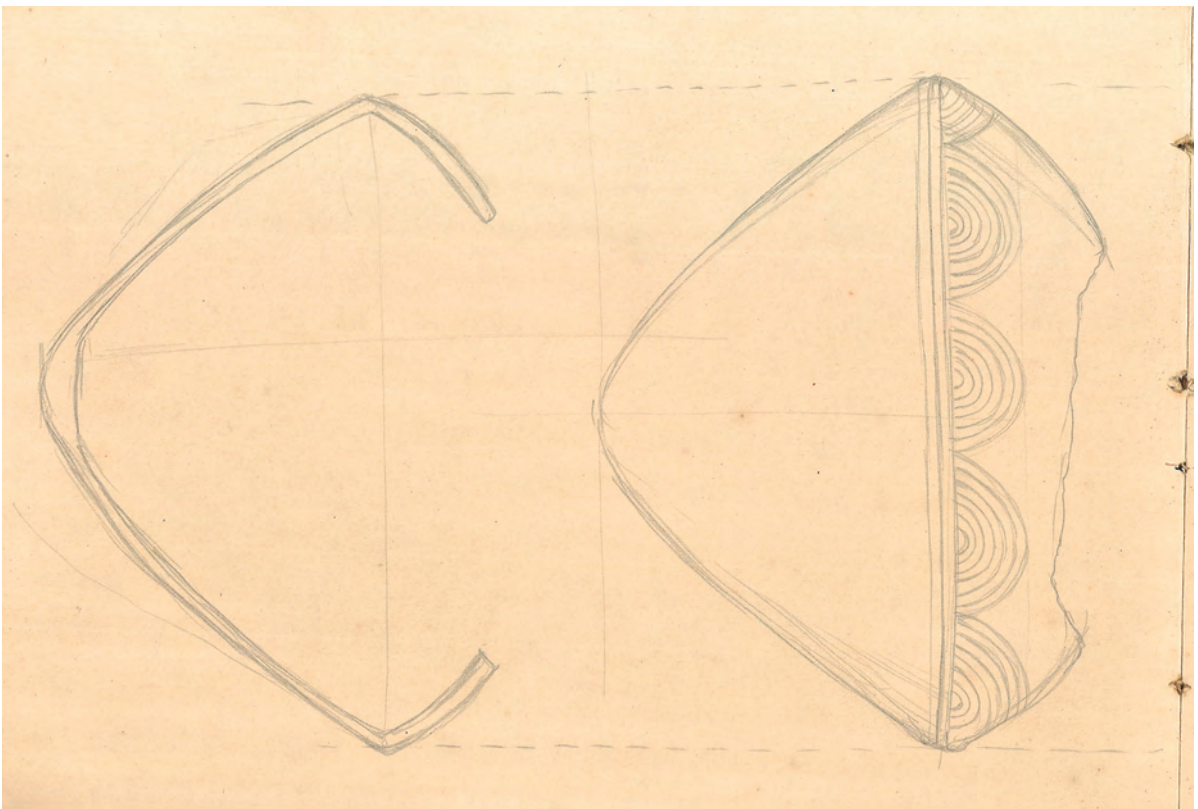


図8 免田式土器（壺）

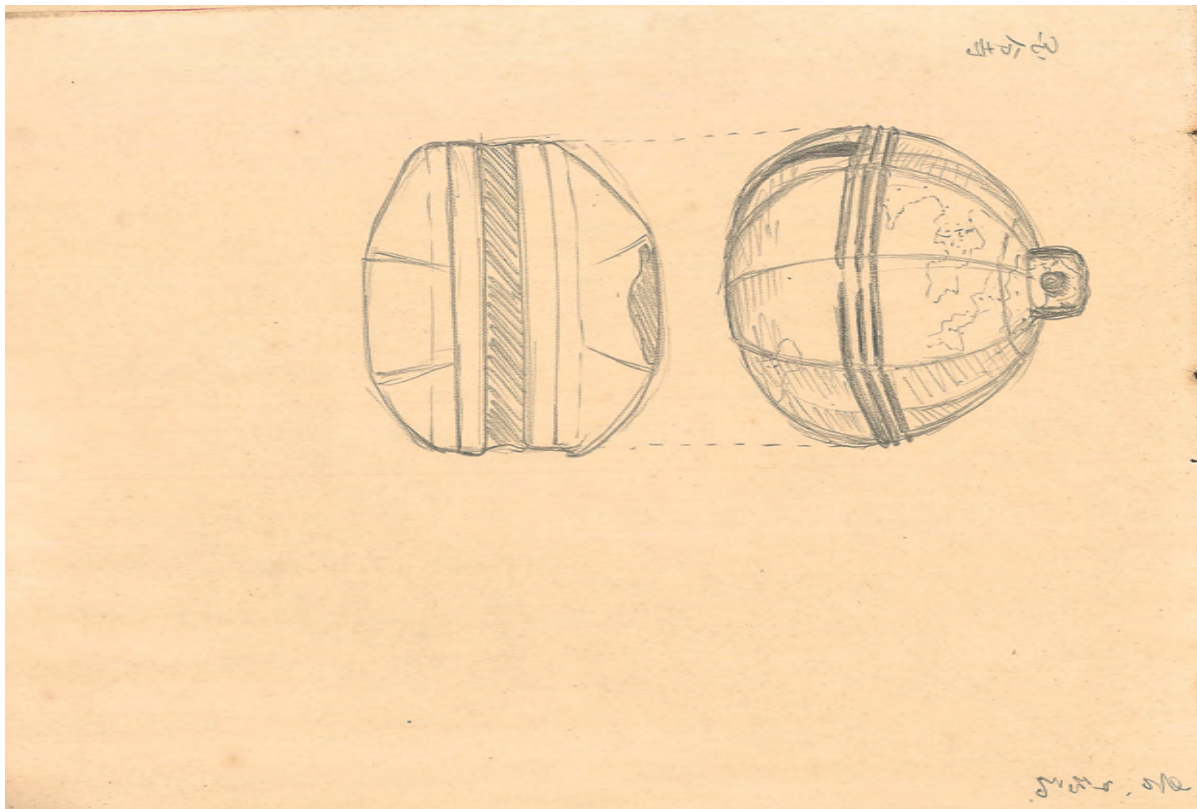


図9 鈴

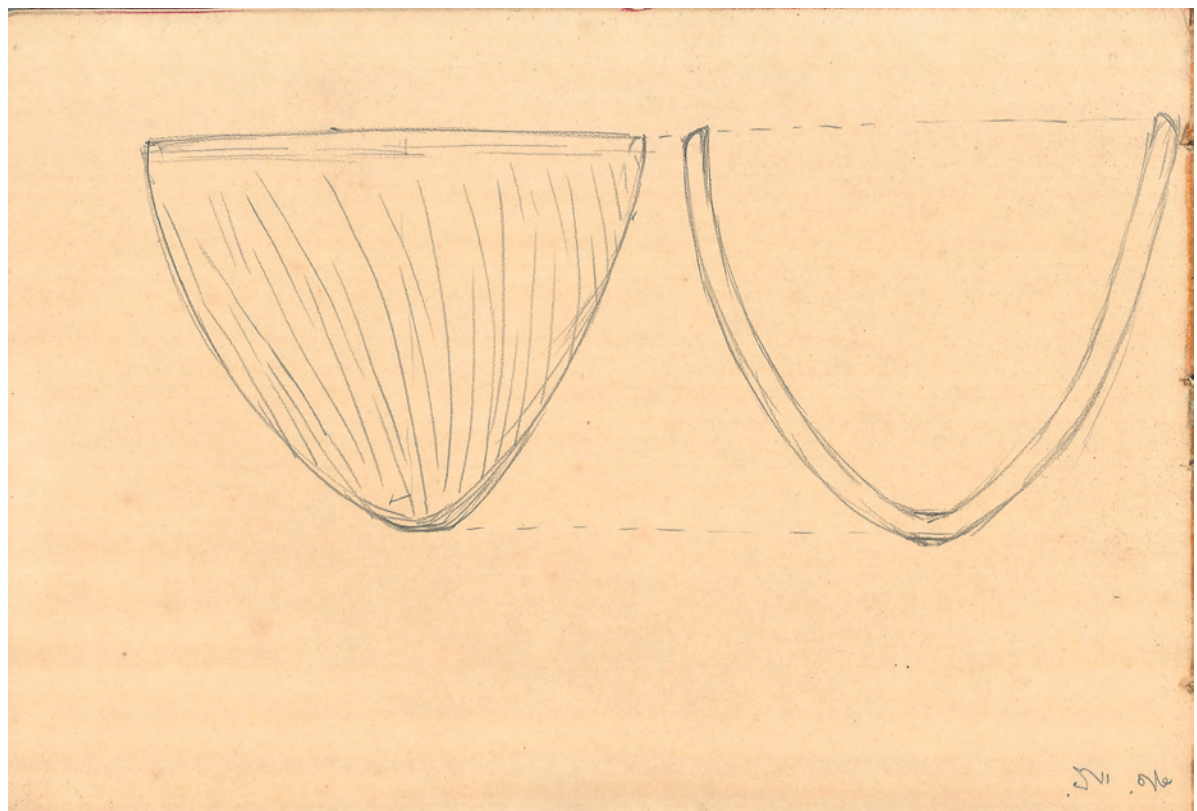


図10 尖先土器

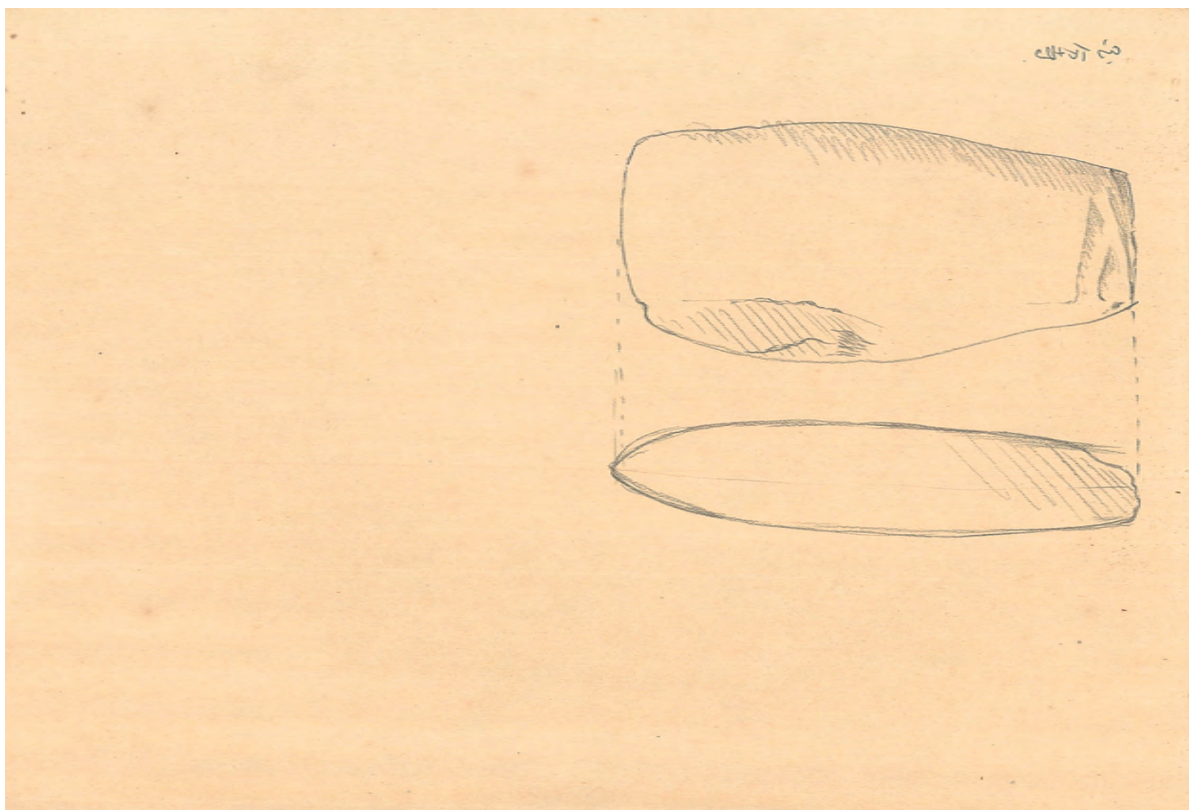


図11 磨製石斧

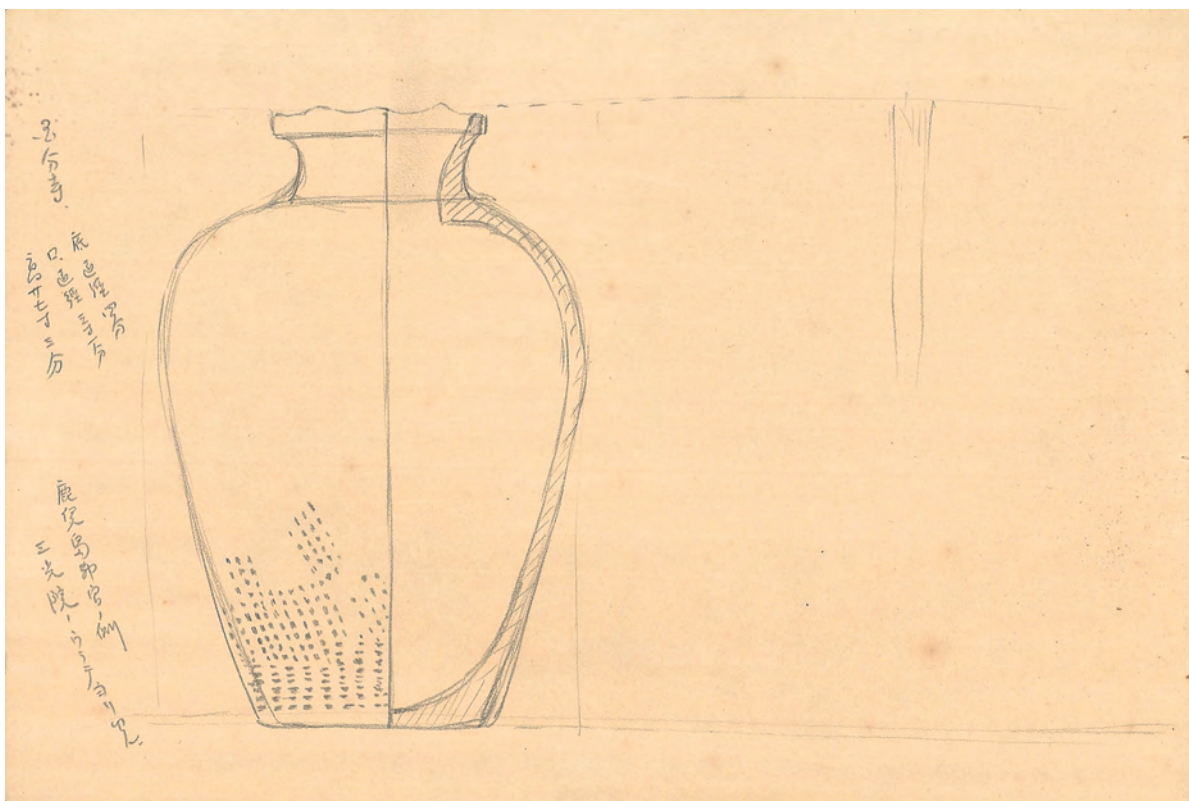


図12 須恵器 (壺)

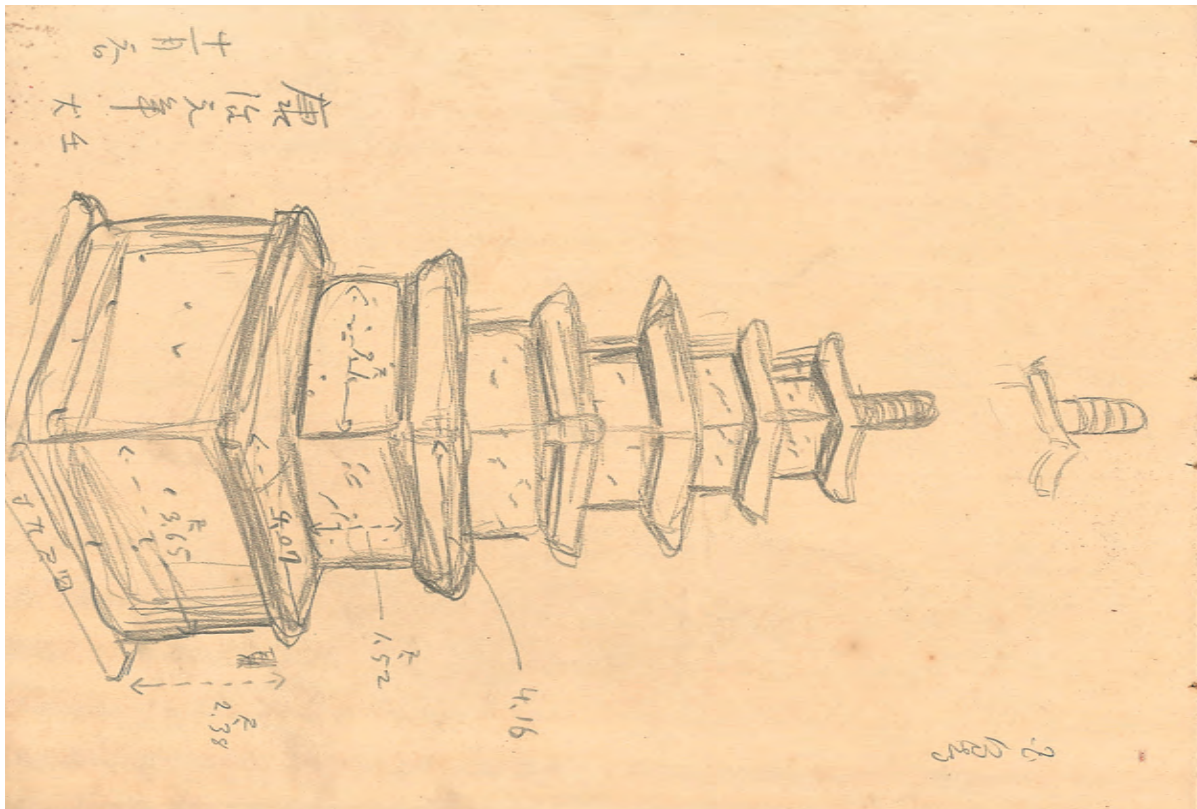


図13 大隅国分寺跡の石造層塔

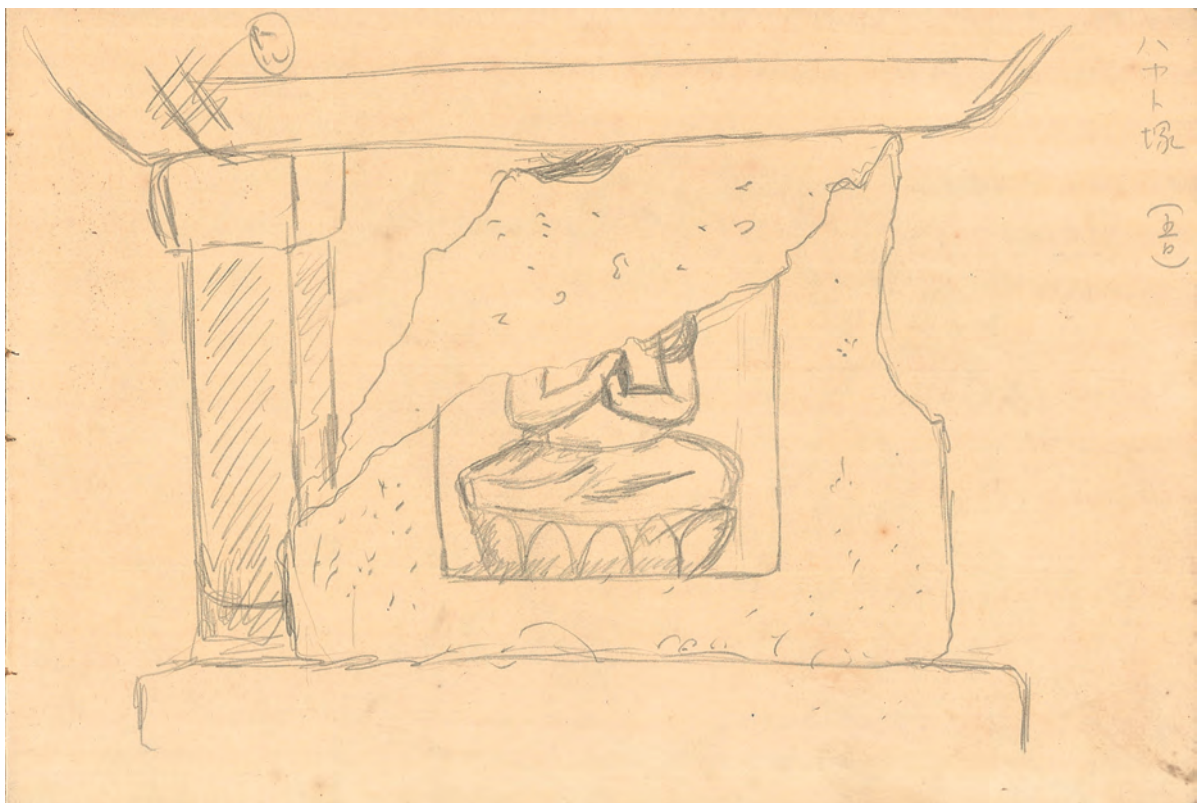


図14 隼人塚

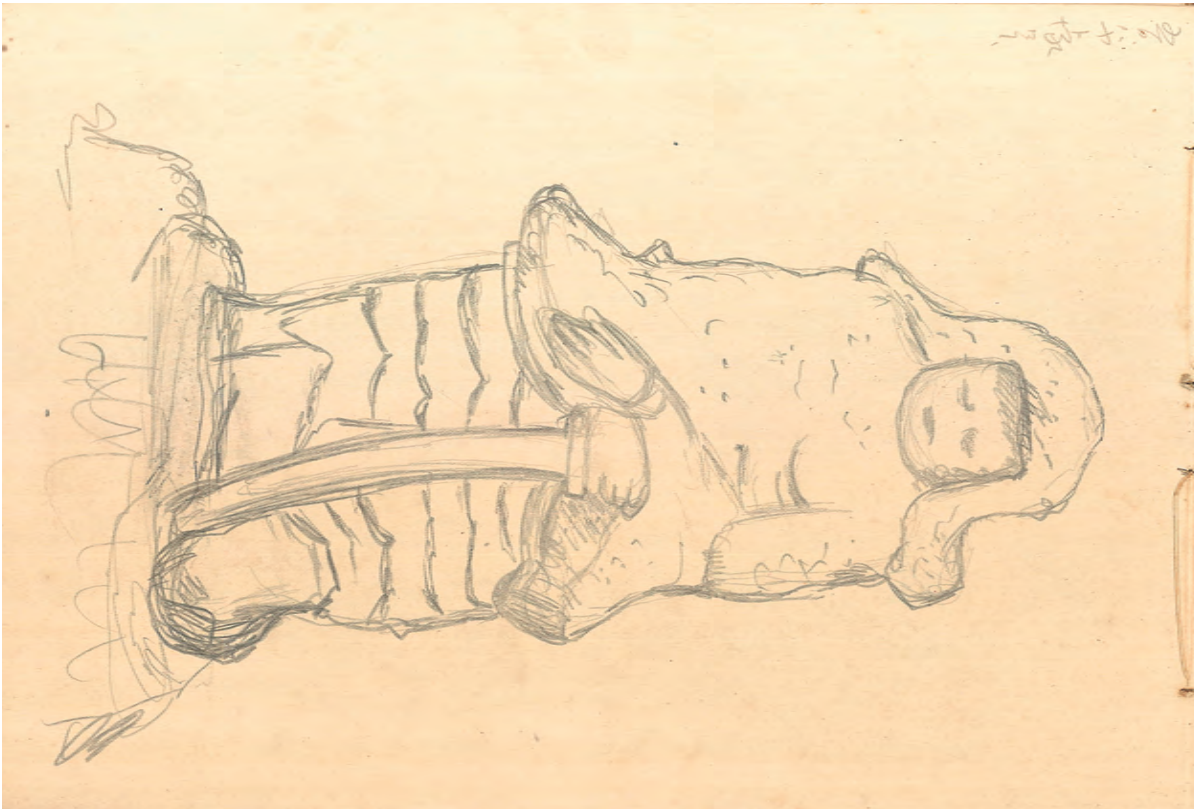


図15 隼人塚の増長天

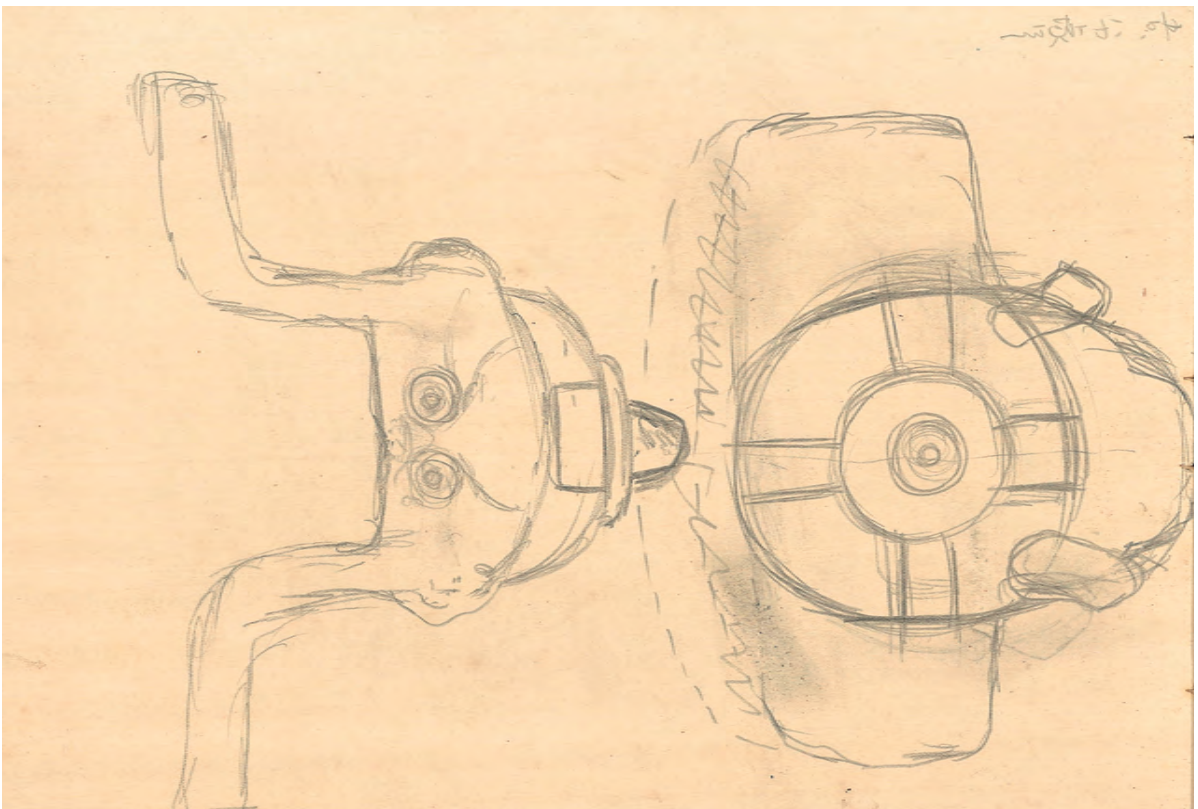


図16 隼人塚の持国天の頭の兜と背面

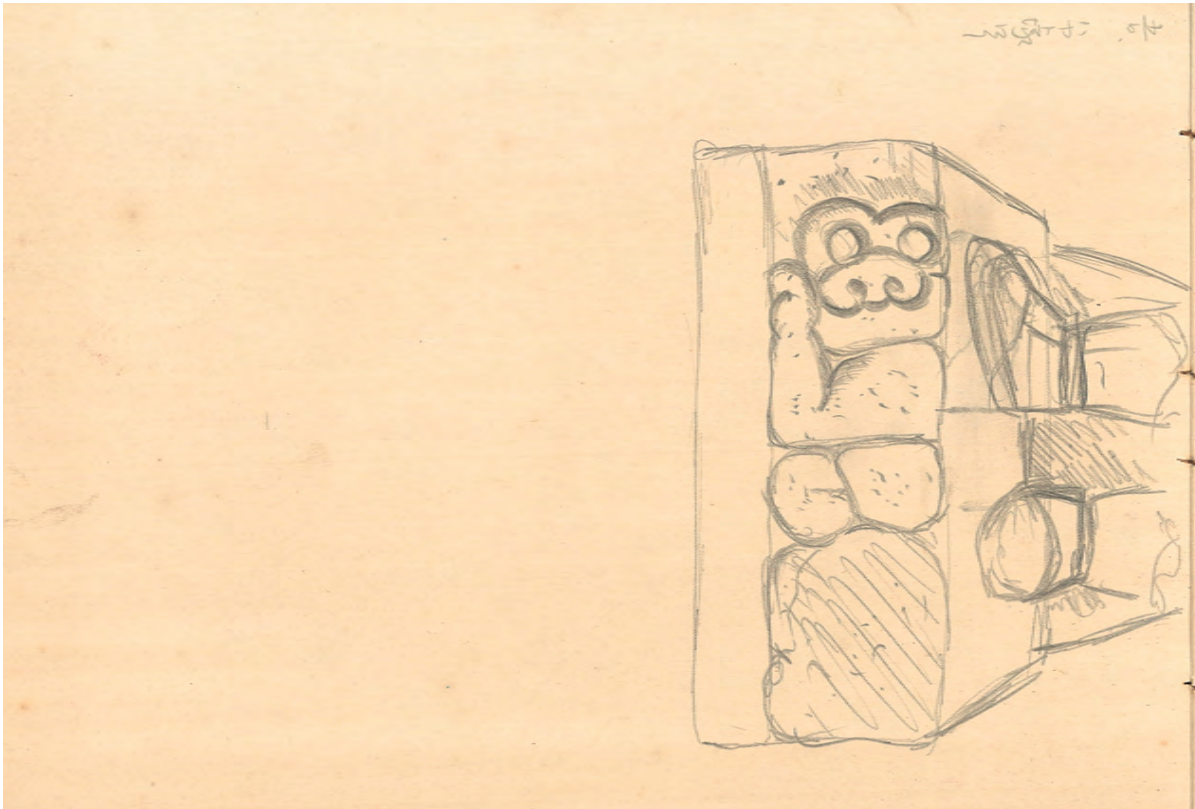


図17 隼人塚の持国天の足元と邪鬼の彫刻部

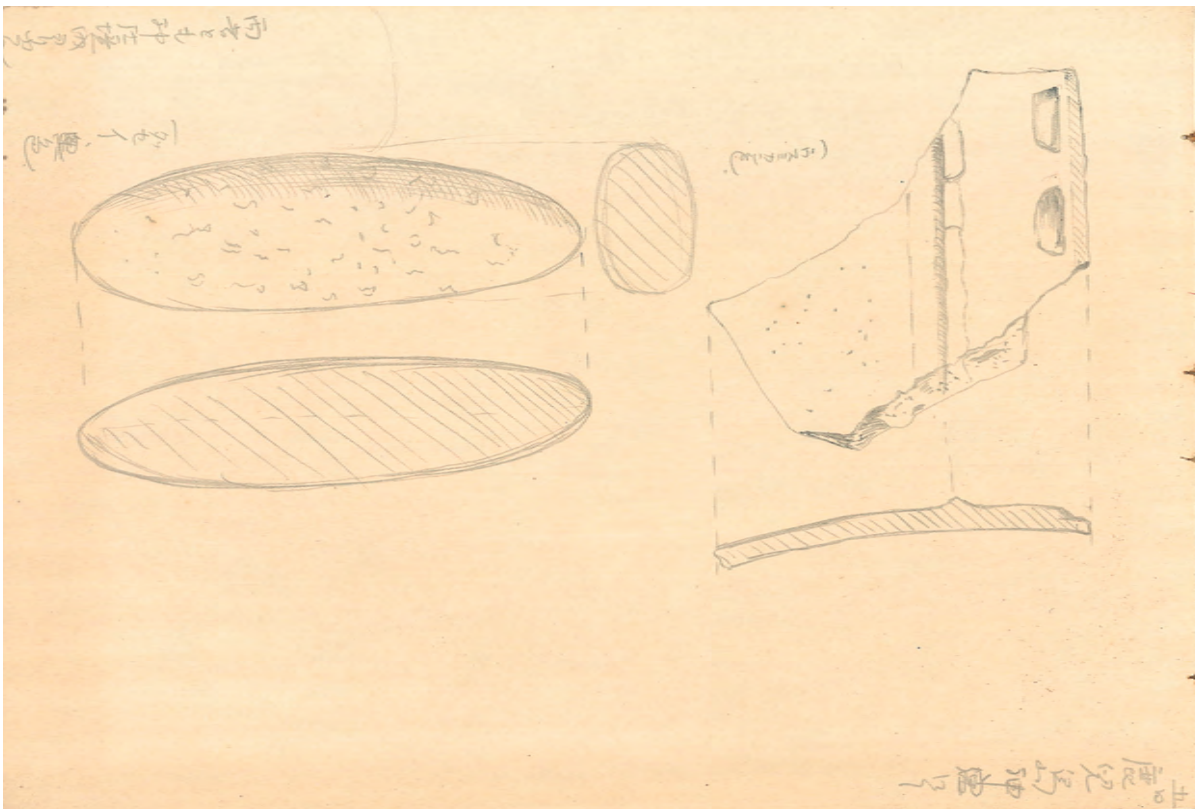


図18 (上) 土器片 (下) 磨製石斧

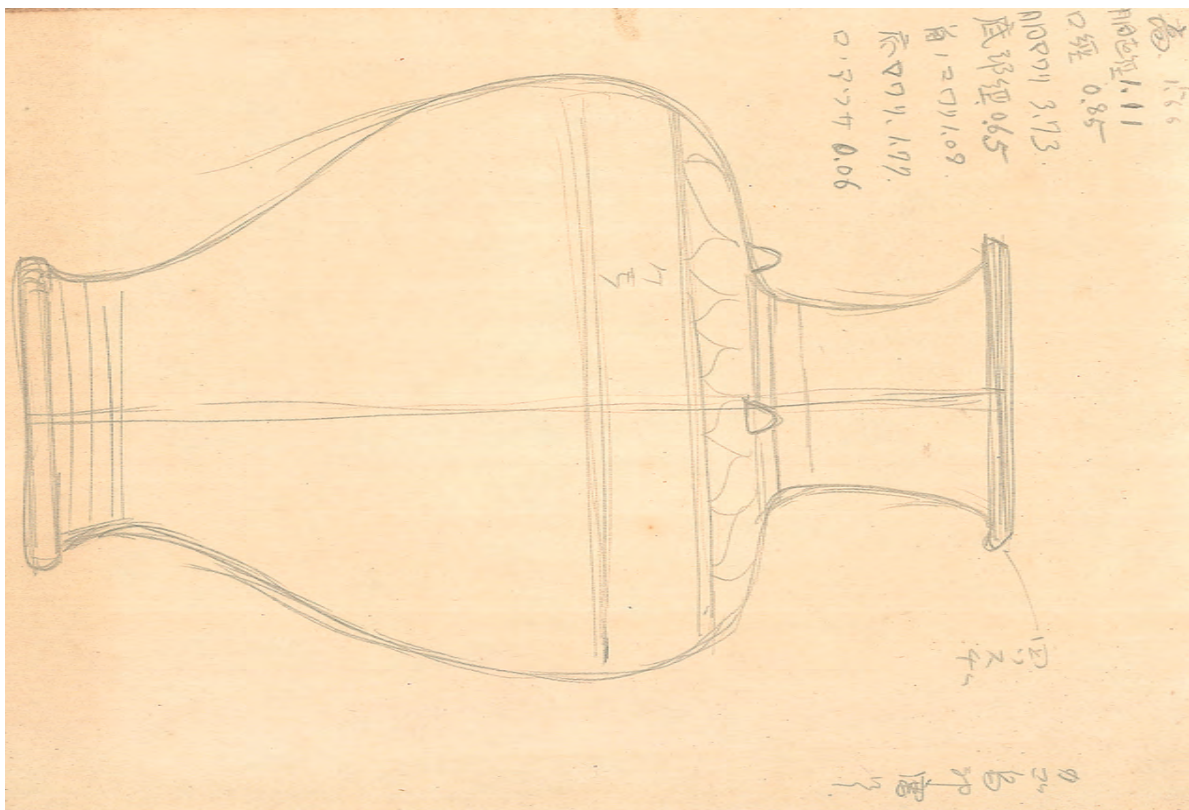


図19 磁器 (壺)

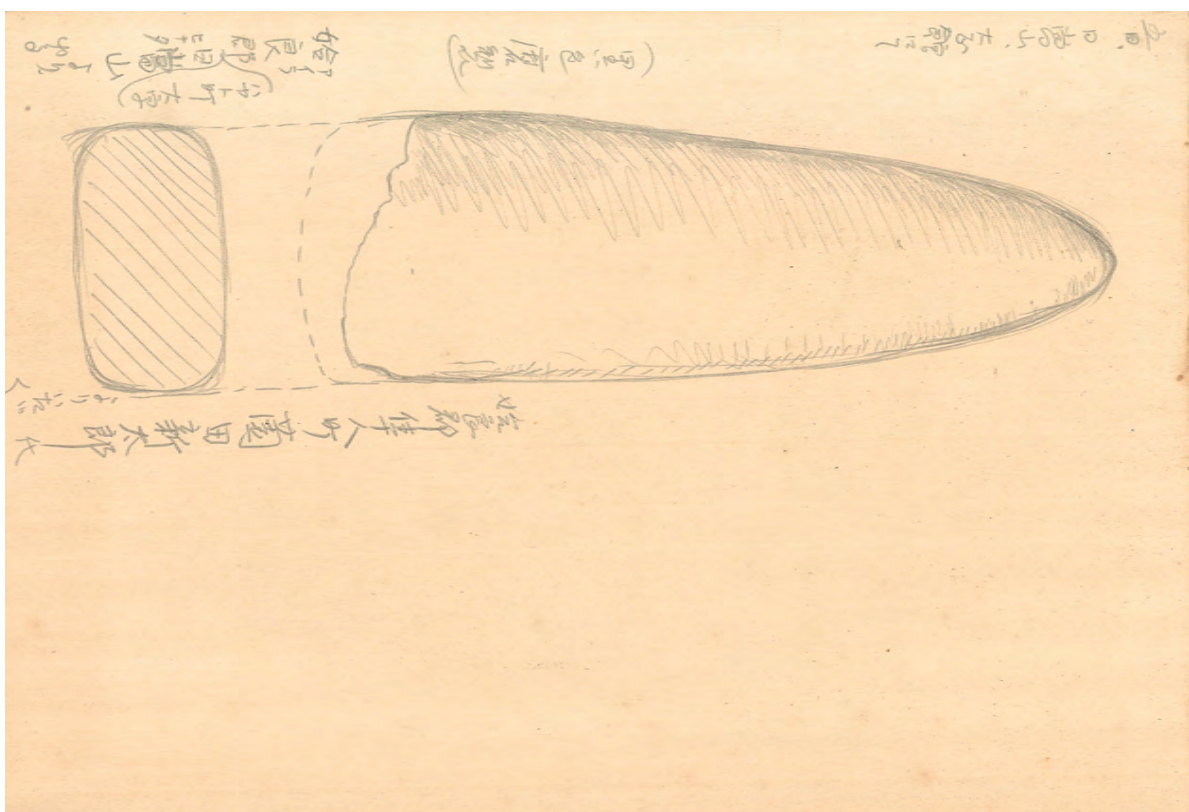


図20 磨製石斧

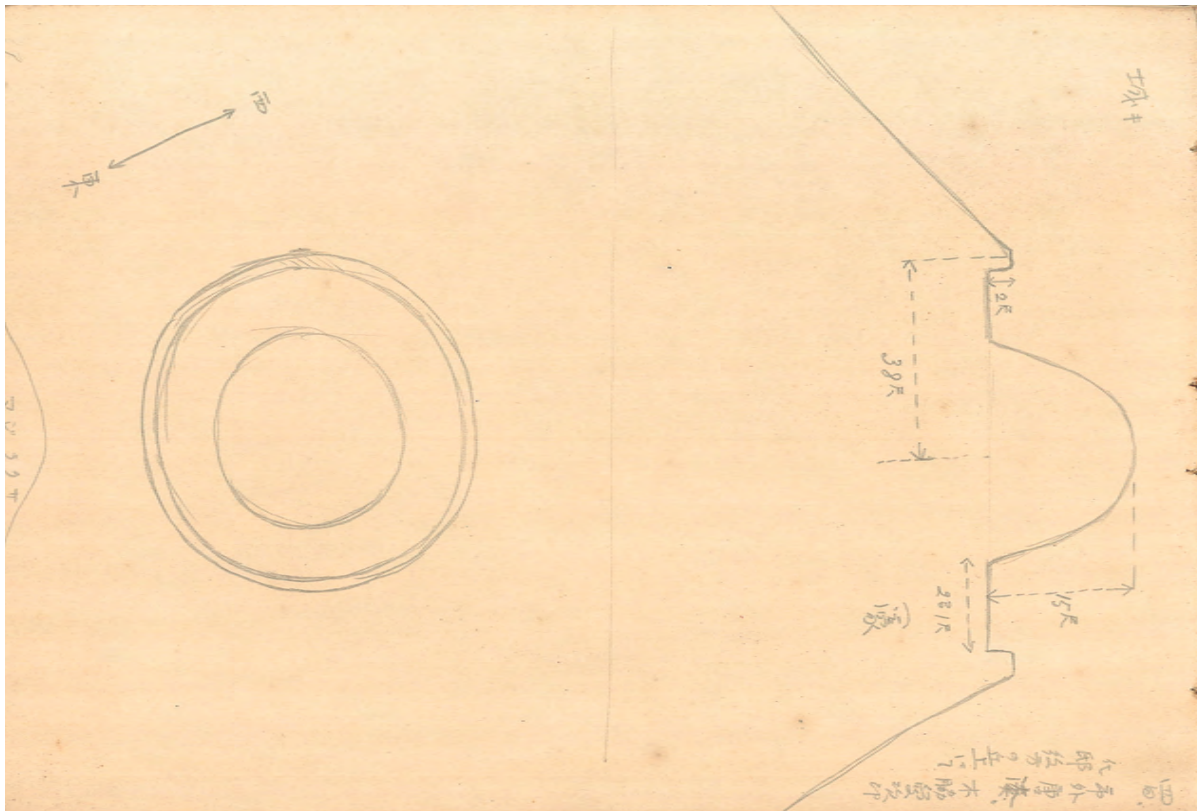


図21 城

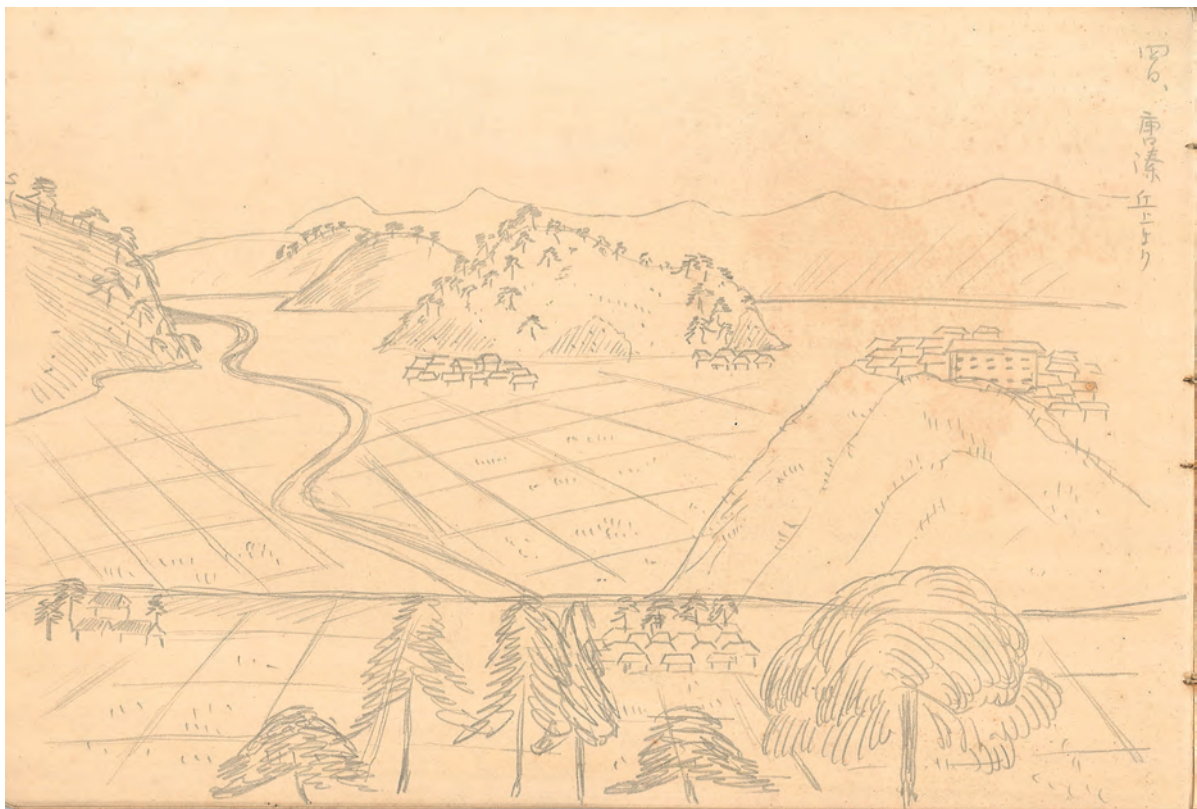


図22 唐湊丘上より

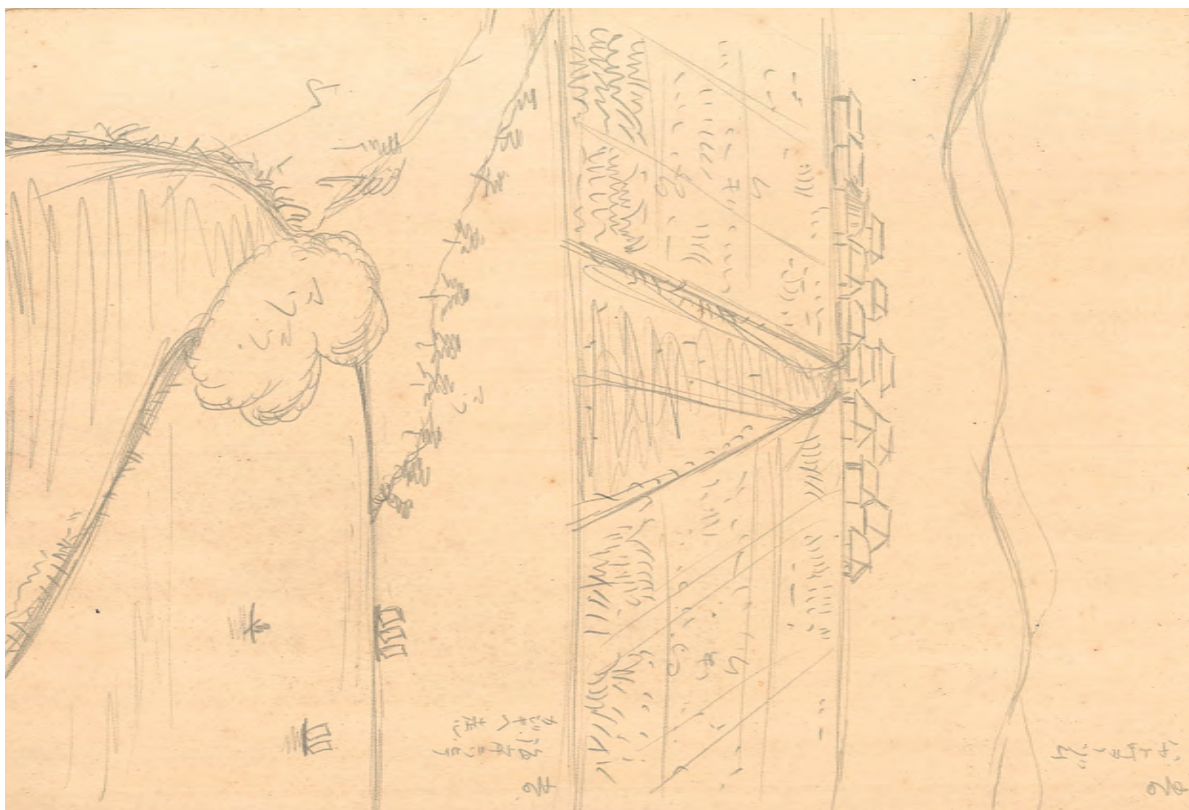


図23 (上) 隼人町を望む (下) 加治木へ向かう

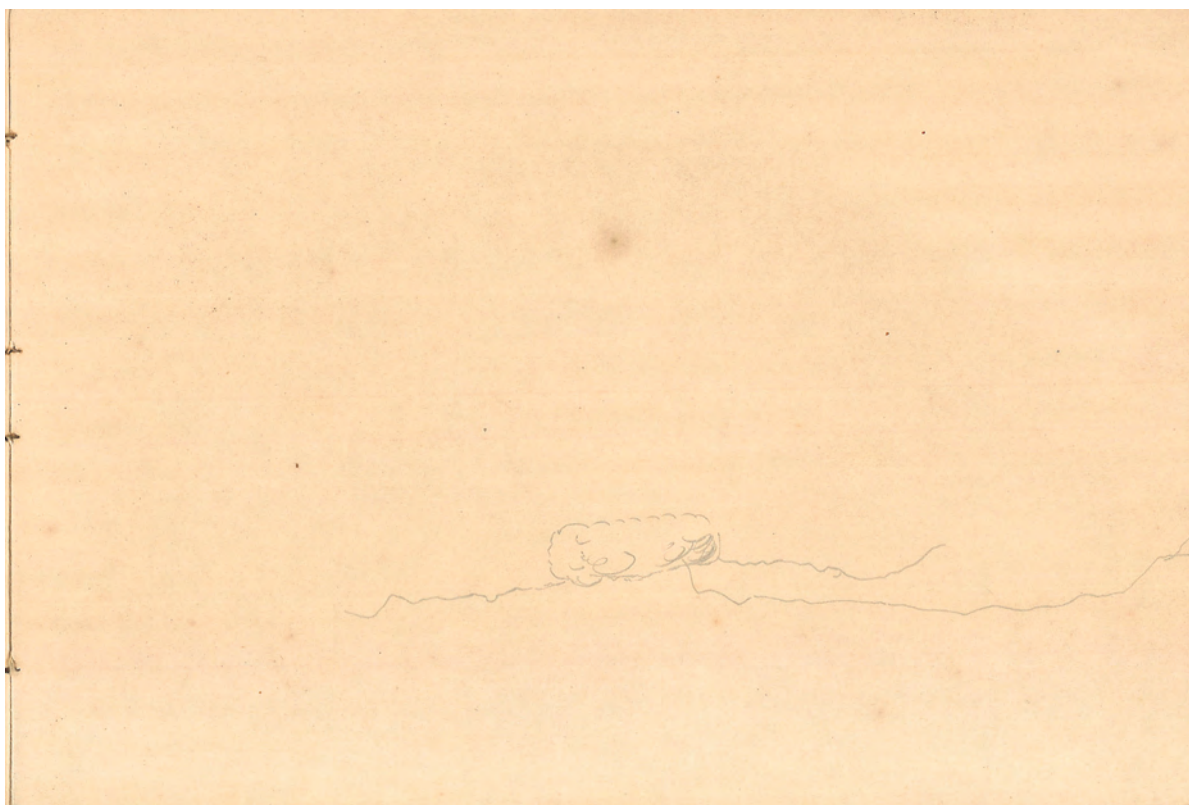


図24 風景か



図25 風景

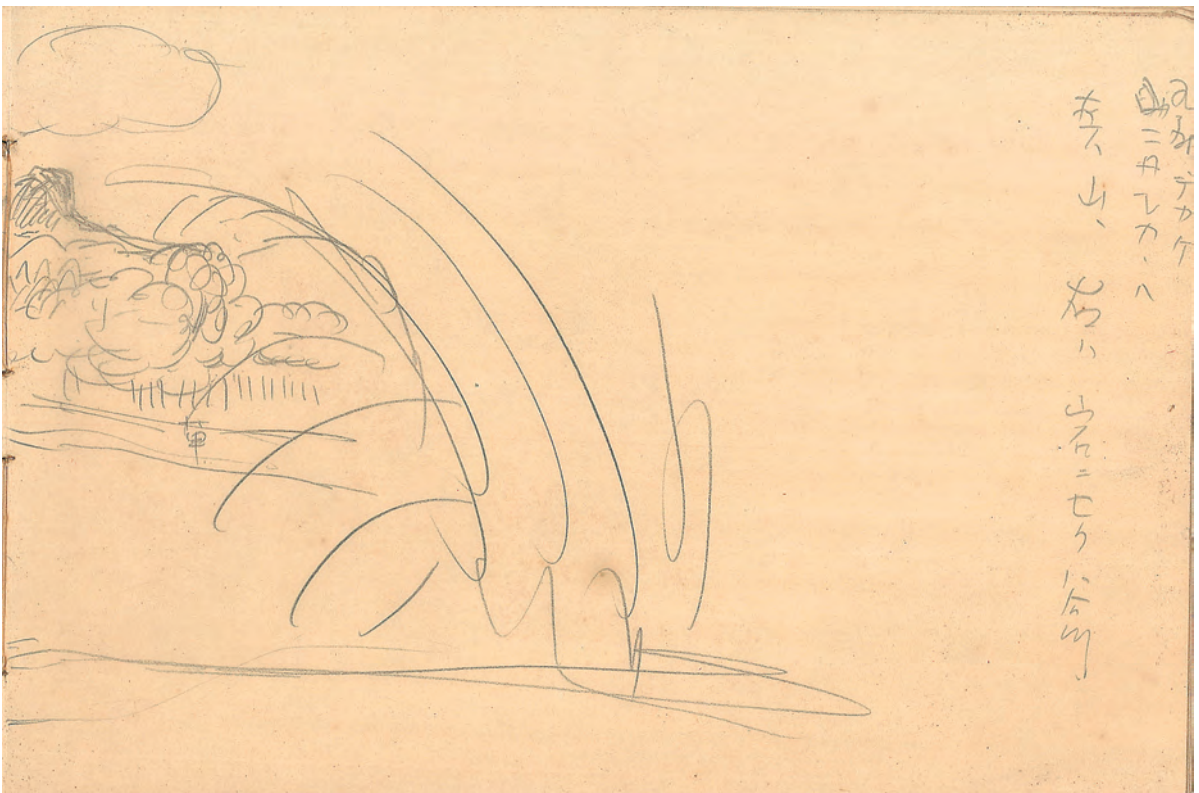


図26 風景

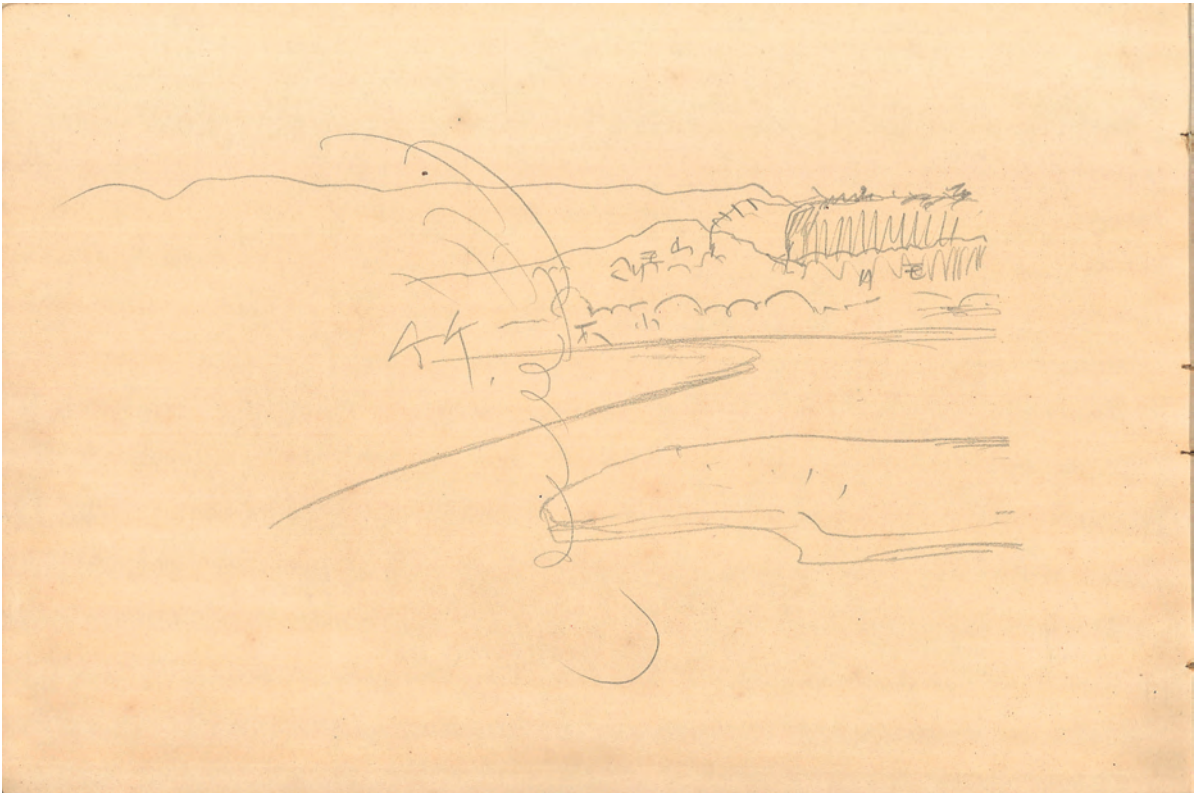


図27 風景

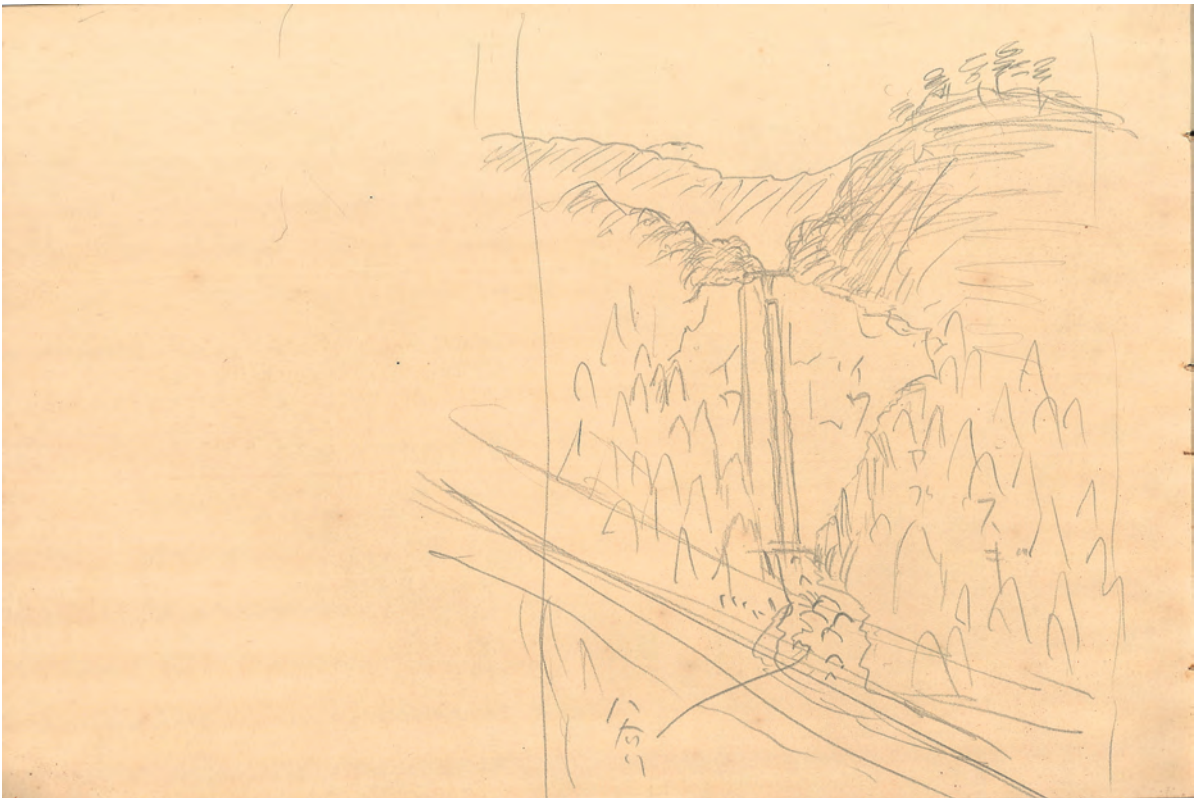


図28 風景

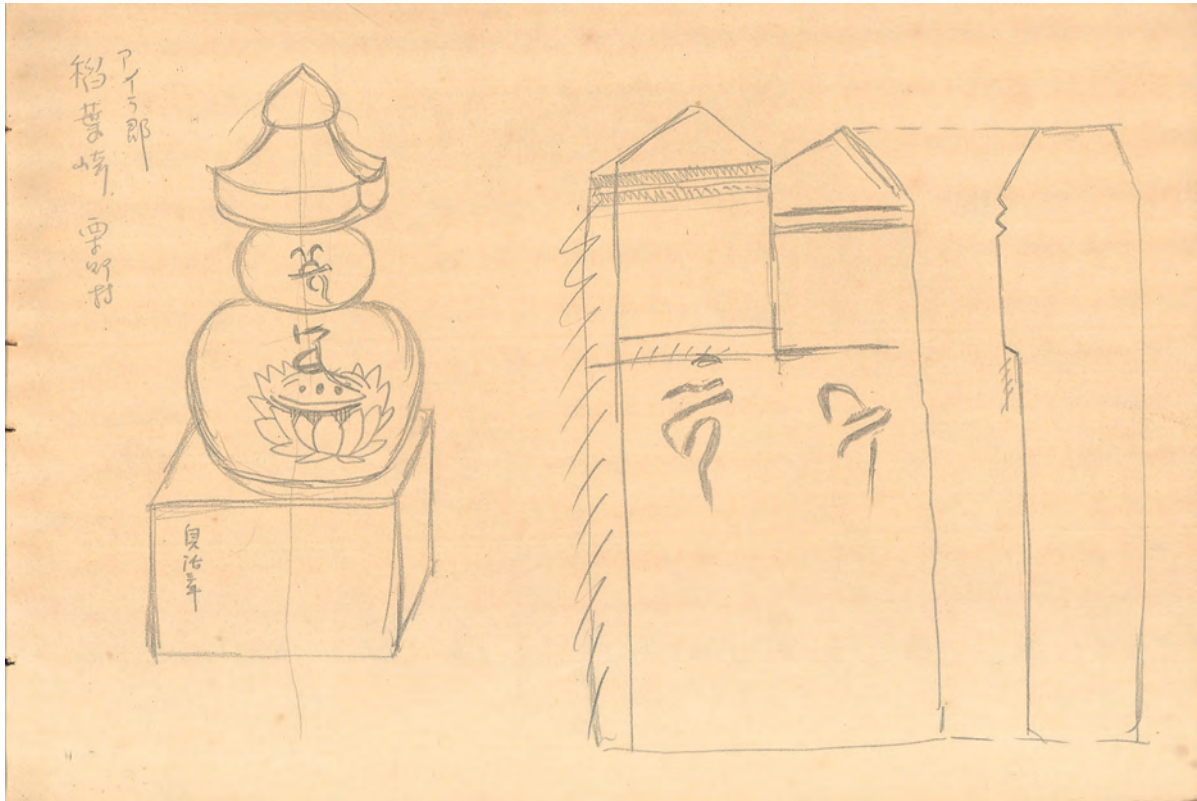


図29 (右) 板碑 (左) 五輪塔



図30 五輪塔と板碑群

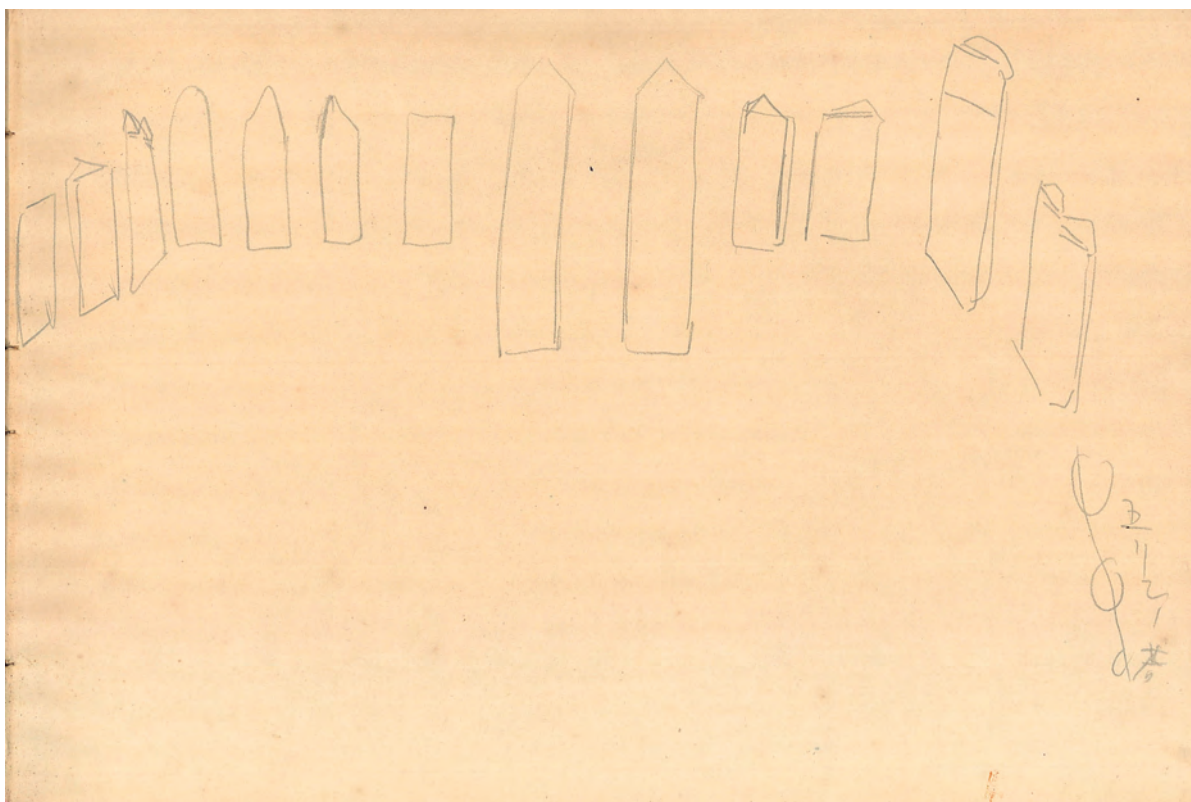


図31 五輪塔と板碑群



図32 田の神

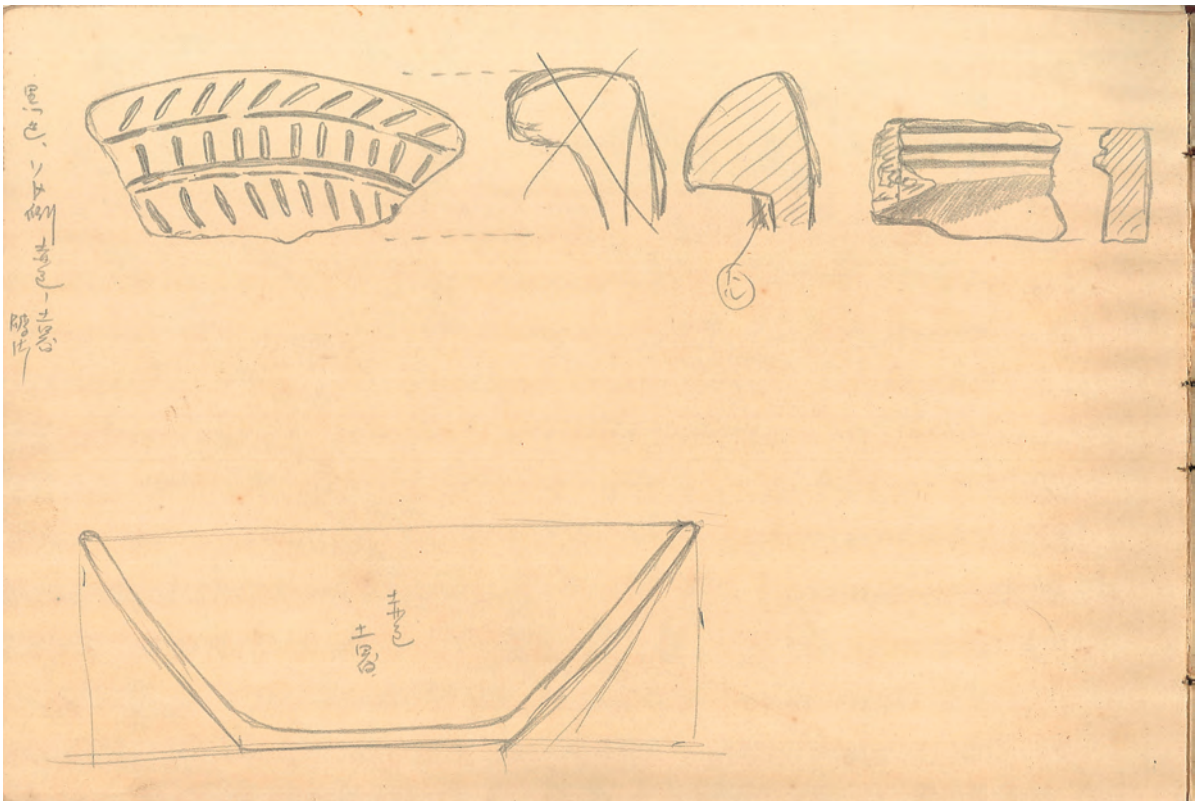


図33 (上) 縄文土器片 (下) 土師器

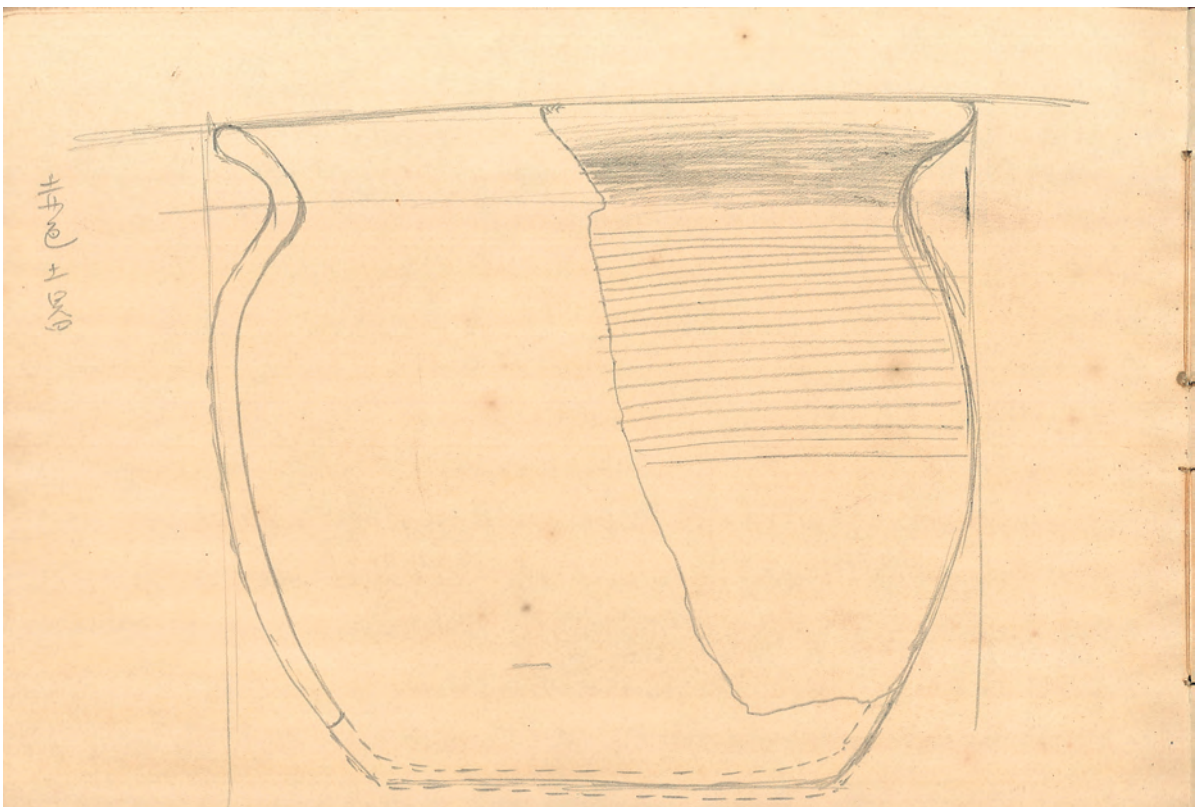


図34 土師器甕(?)

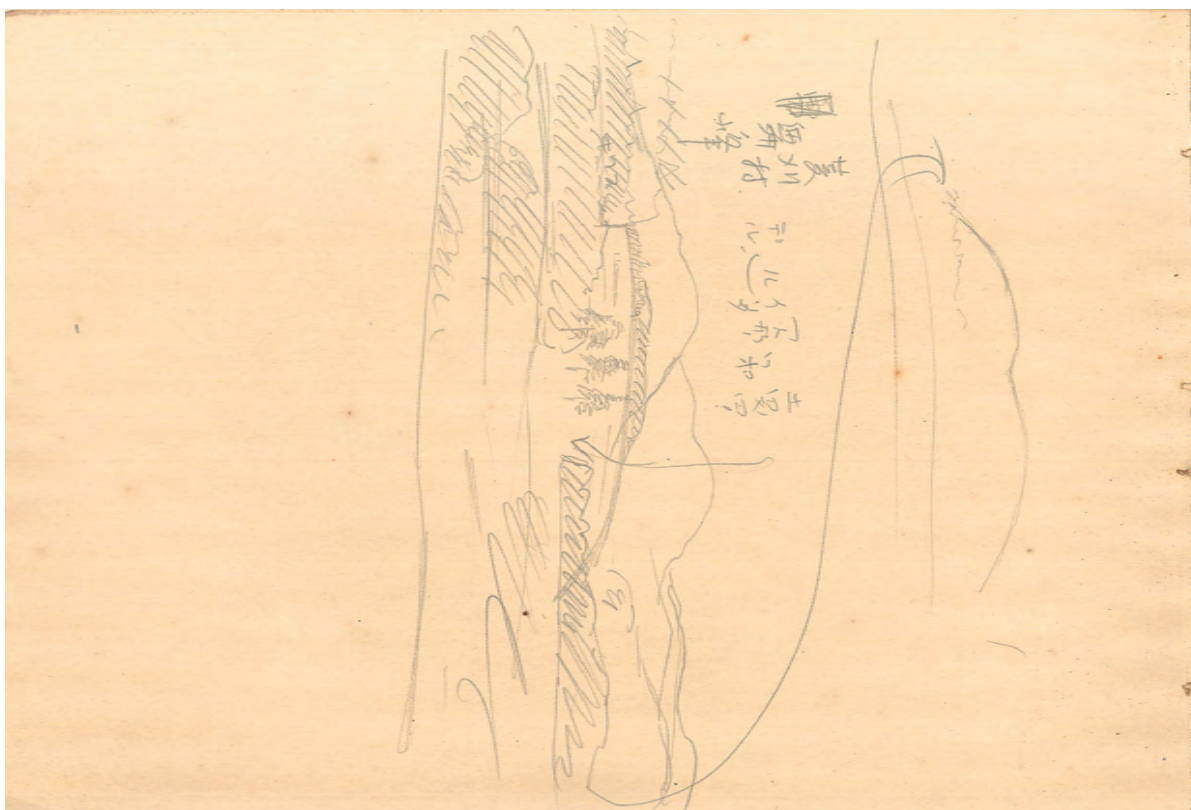


図35 風景

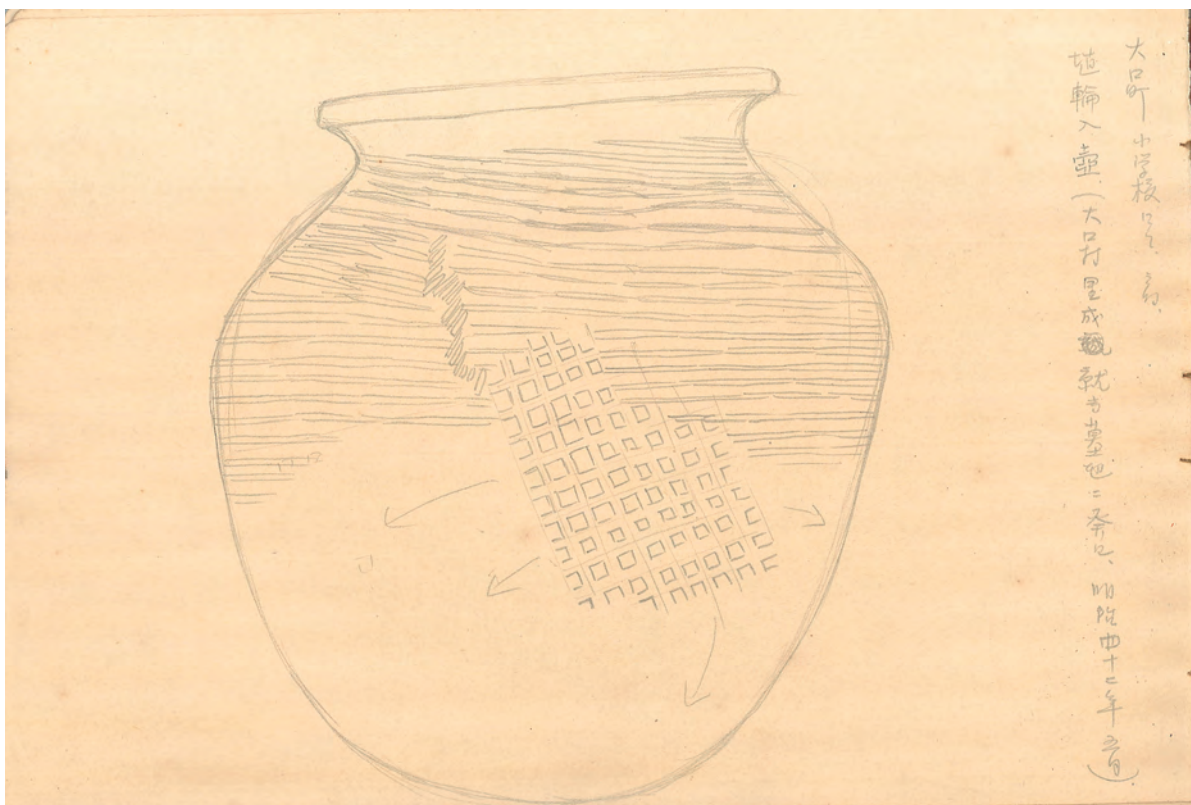


図36 須恵器 (壺)

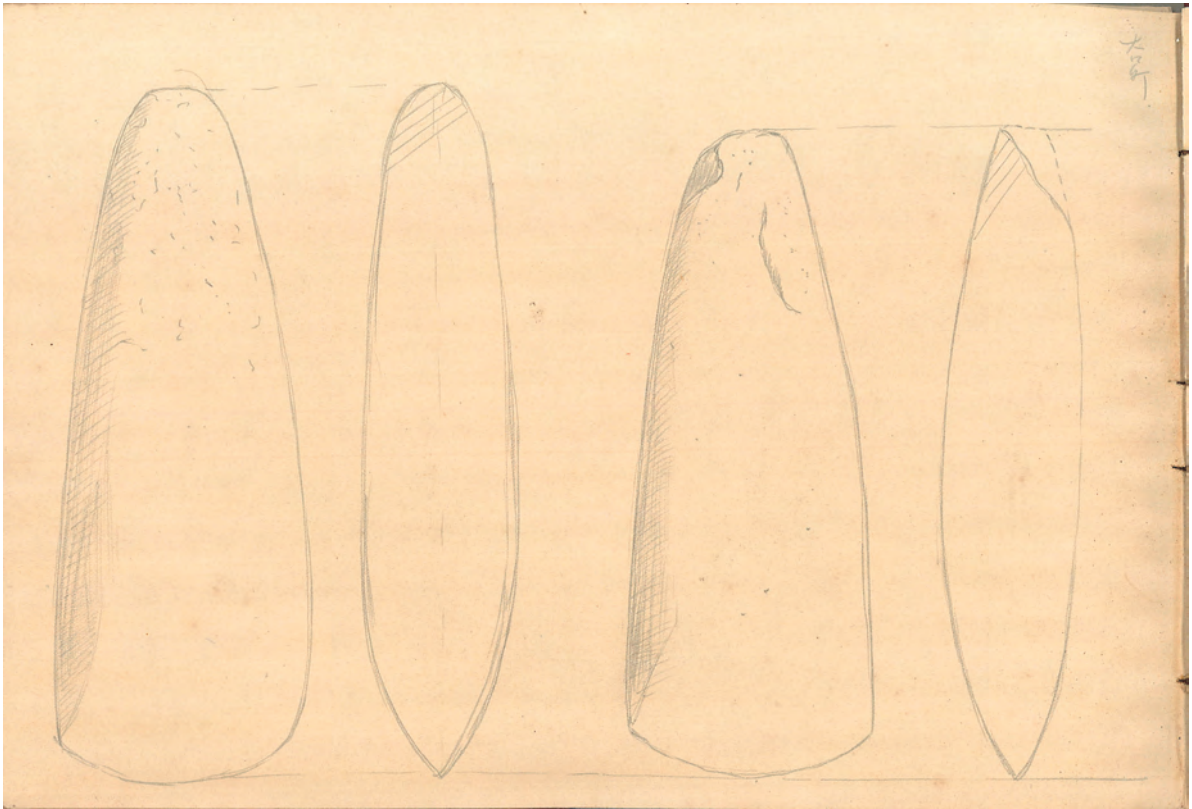


図37 磨製石斧

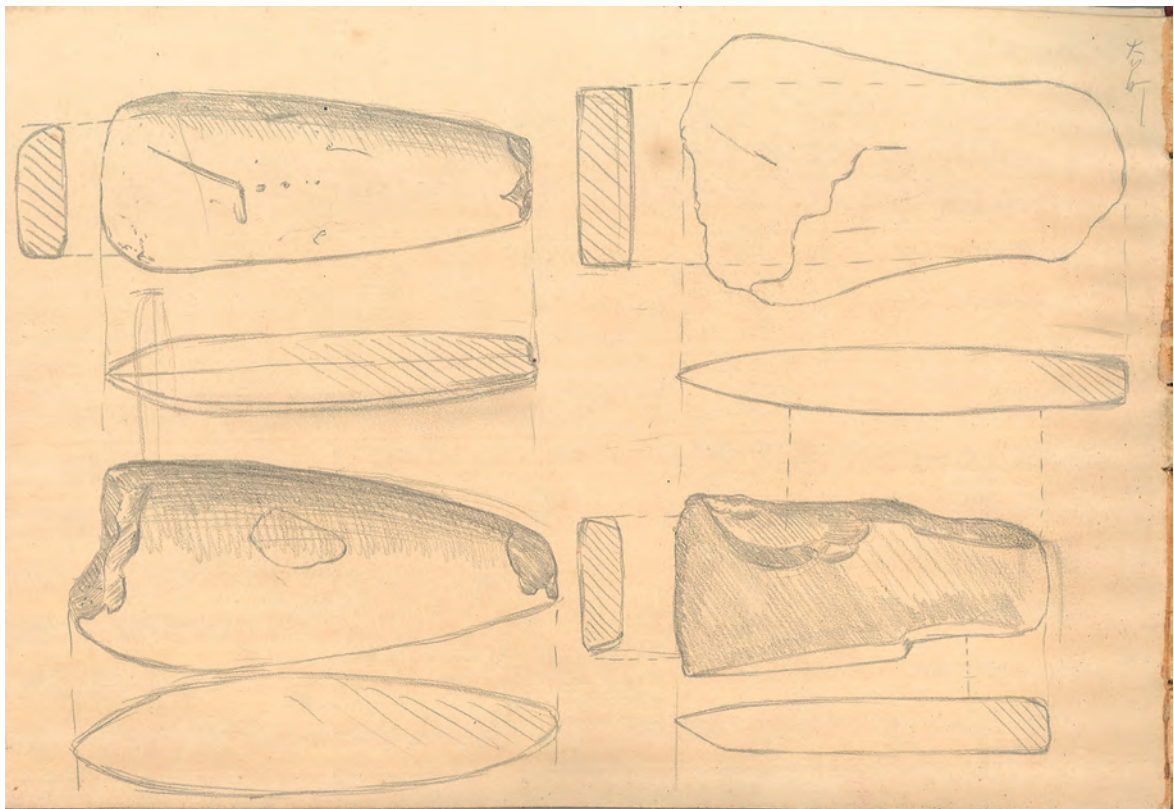


図38 (左上) 打製石斧 (他) 磨製石斧

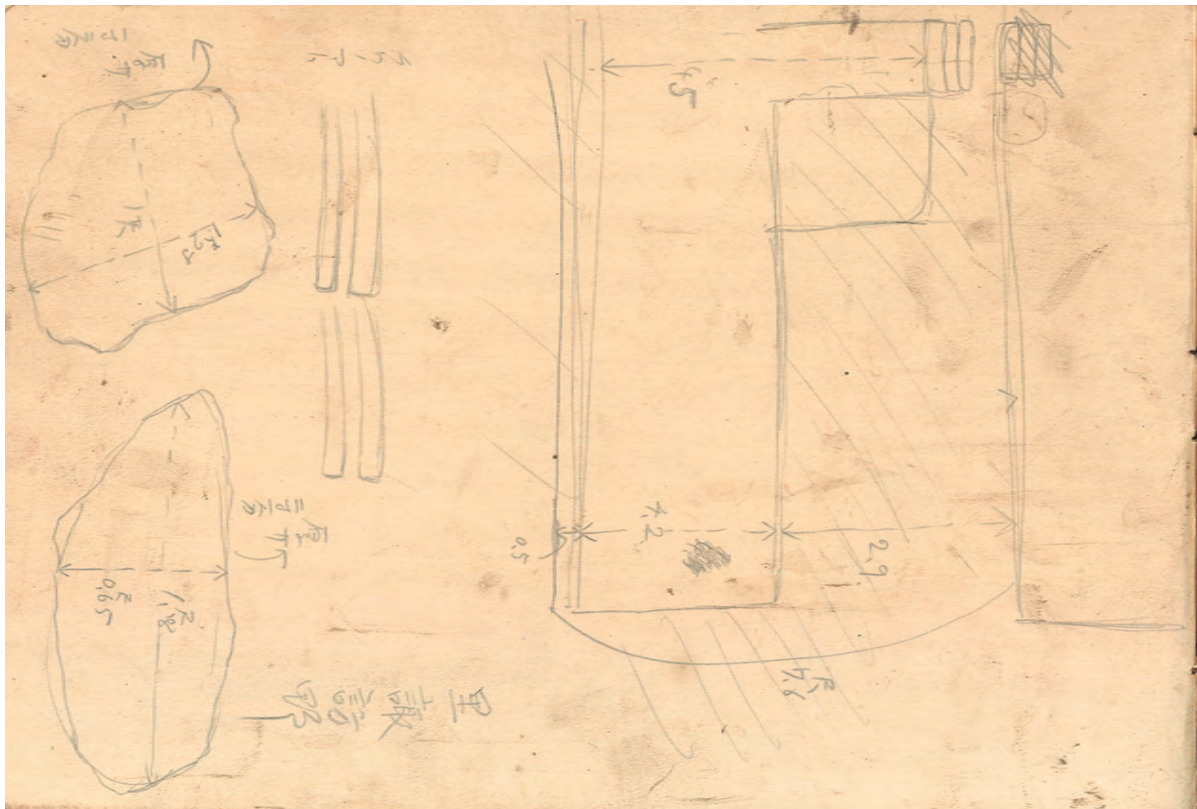


図39 (上) 諏訪野地下式古墳 (下) 礎石 (?)

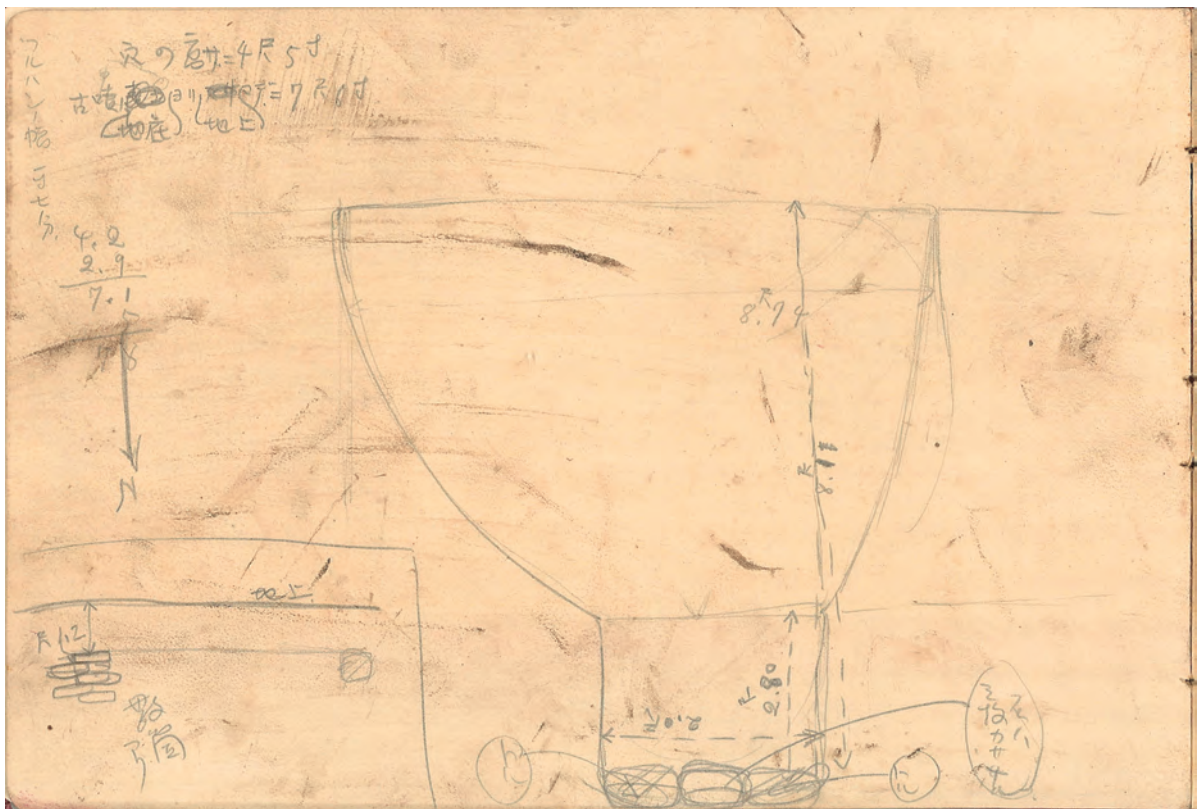


図40 諏訪野地下式古墳

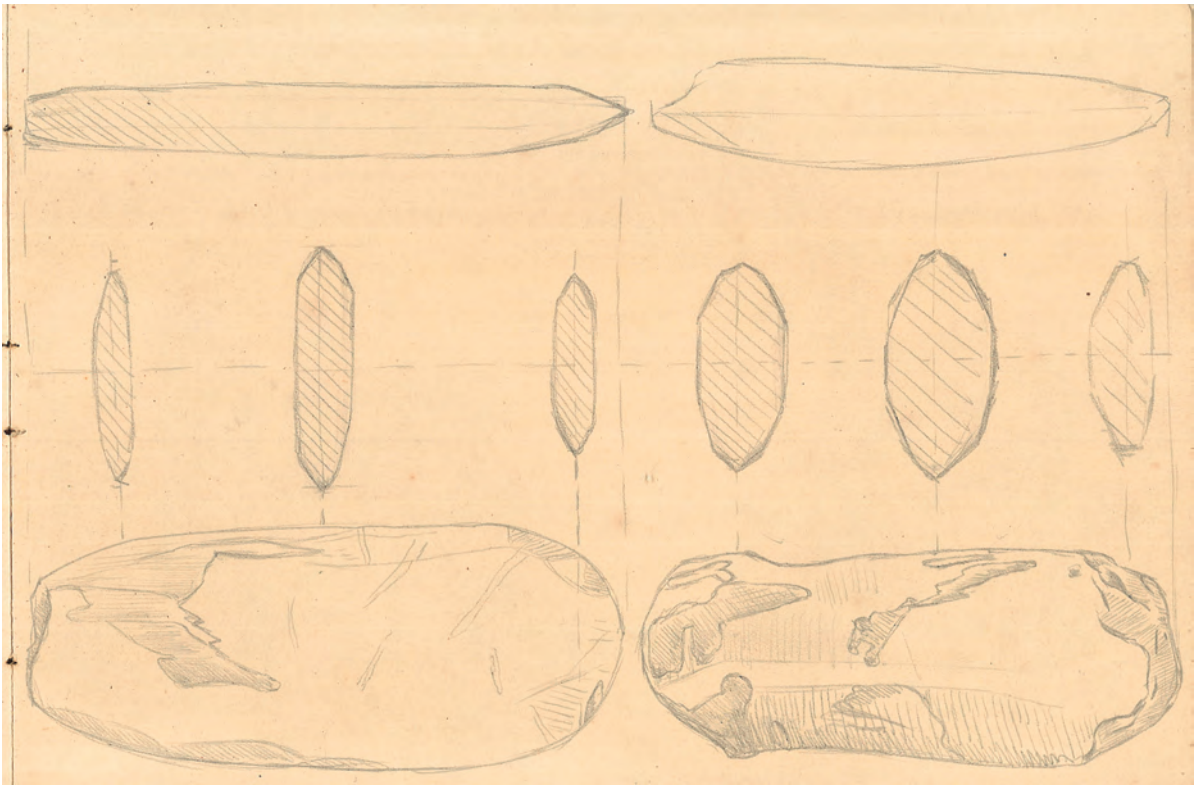


図41 磨製石斧

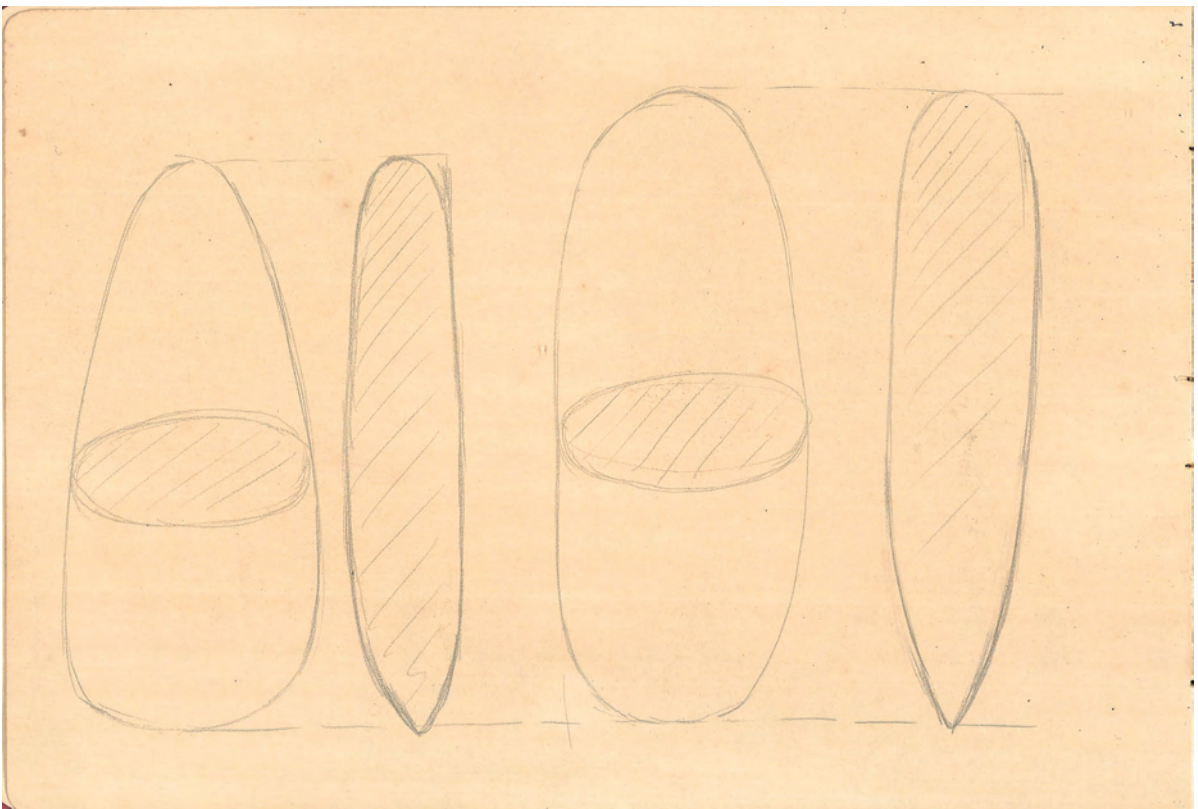


図42 磨製石斧

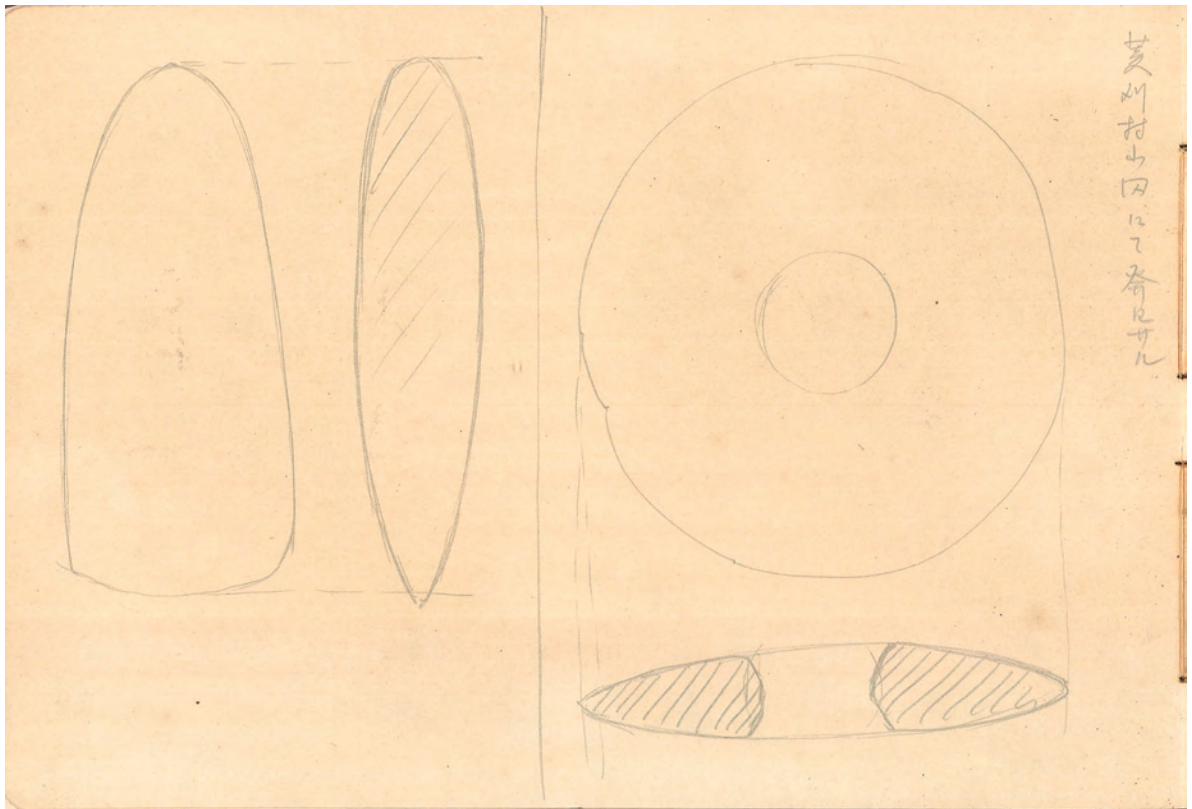


図43 (左) 磨製石斧 (右) 環状石斧

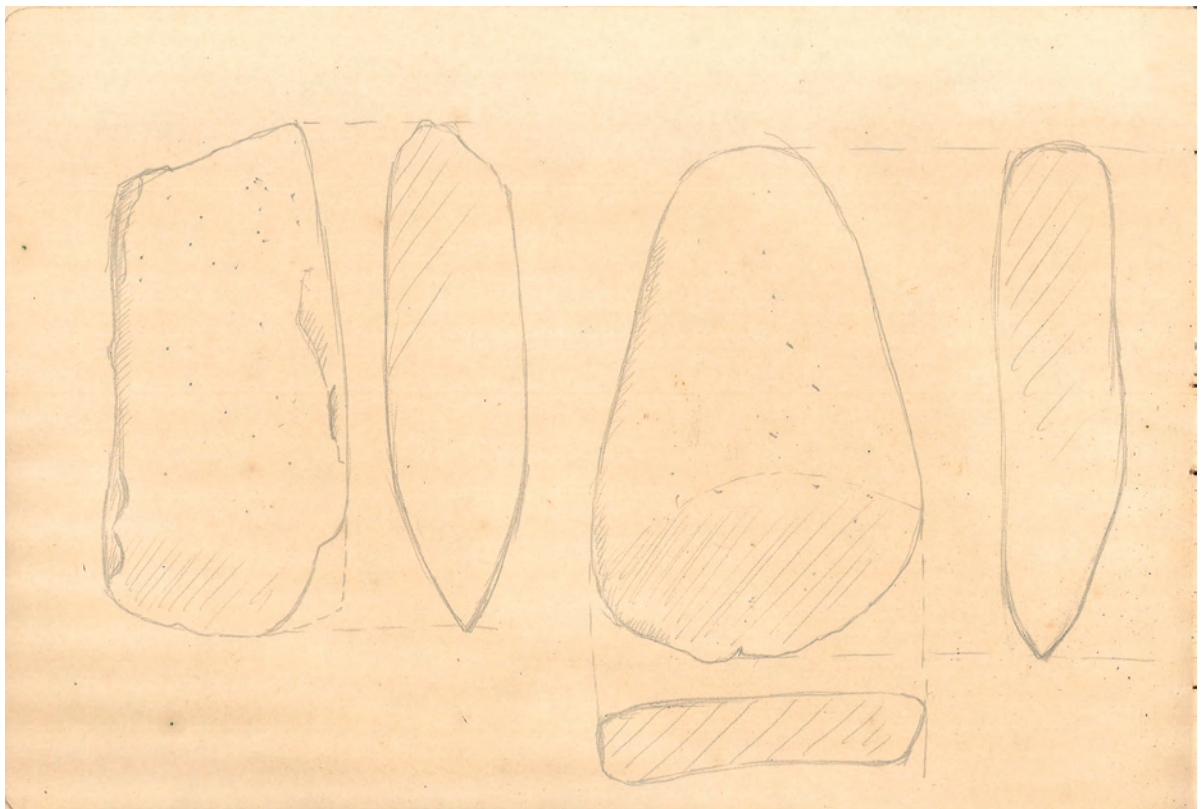


図44 磨製石斧

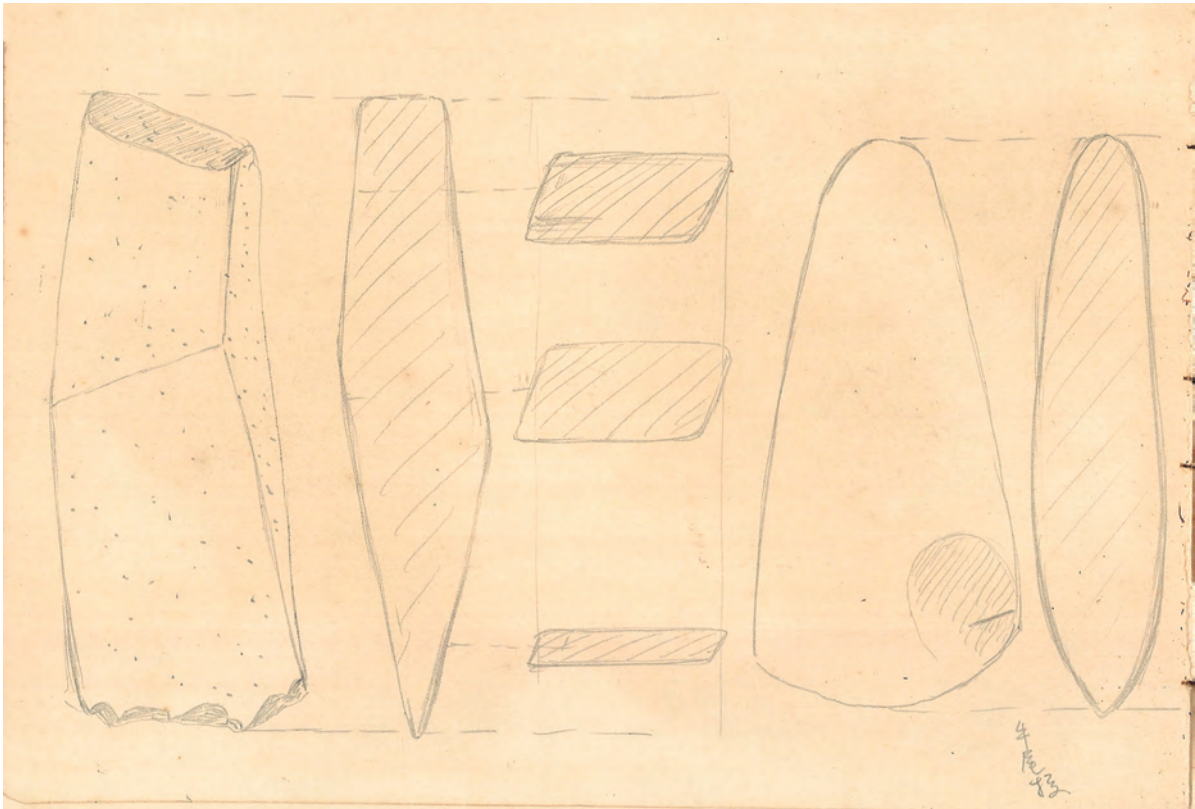


図45 (左) 打製石斧 (右) 磨製石斧

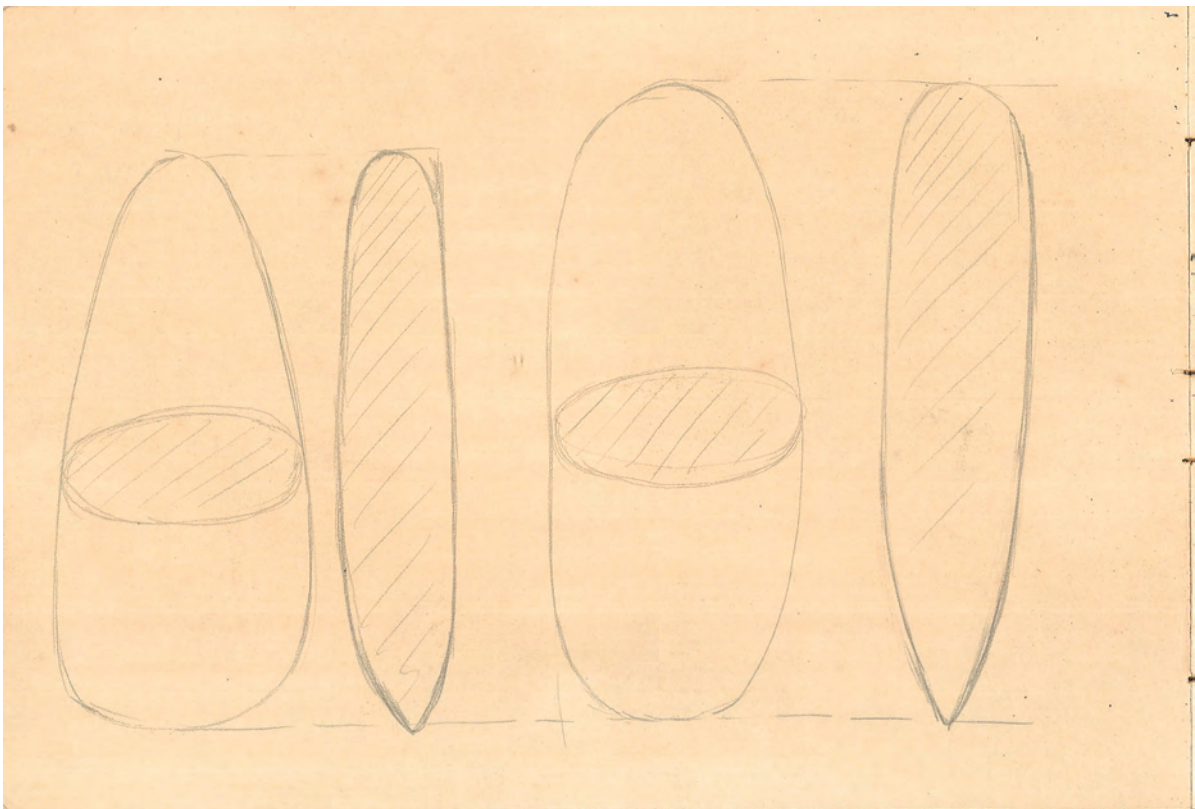


図46 磨製石斧



図47 磨製石斧

表2 図版詳細

図版番号	月	日	名 称	書 き 込 み	備 考	現在の市町村名
1			スケッチ帳の表紙			
2	3	5	歓喜天像	五日, 小学校にて	柁城校(加治木)か	始良市
3	3	5	磨製石斧	五日, 小学校にて	柁城校(加治木)か	始良市
4			縄文土器片, 打製石斧(?)	国分八幡上, 八幡上 八幡上, 土器破片		
5			磨製石斧(丸ノミ?)			
6			磨製石斧			
7			免田式土器(壺)俯瞰図		6の土器を上からスケッチしたもの	
8			免田式土器(壺)		土器の横からのスケッチと, 断面のスケッチ	
9	3	5	鈴	国分寺, 五日, 午後二時	大隅国分寺か	霧島市国分中央
10	3	5	尖先土器	五日, 午後二時		
11			磨製石斧	国分寺		霧島市国分中央
12			須恵器(壺)	国分寺 底, 直径四分, 口直径三寸一分 高サ七寸三分 鹿児島神宮ノ側 三光院ノウラテヨリ出ル		霧島市国分中央
13			大隅国分寺跡の石造層塔	国分寺 康治元年 壬戌 十一月六日	大隅国分寺	霧島市国分中央
14	3	5	隼人塚	ハヤト塚(五日)	隼人塚	霧島市隼人町内山田
15	3	5	隼人塚の増長天	五日 ハヤト塚にて	隼人塚	霧島市隼人町内山田
16	3	5	隼人塚の持国天の頭の兜と背面	五日 ハヤト塚にて	隼人塚	霧島市隼人町内山田
17	3	5	隼人塚の持国天の足元と邪鬼の彫刻部	五日 ハヤト塚にて	隼人塚	霧島市隼人町内山田
18	3	5	(上) 土器片 (下) 磨製石斧	五日 鹿児島神宮にて (ウスミカン色)(ダセイ, 黒色) 両方とも 神社境内ヨリ出ル	鹿児島神宮	霧島市隼人町宮内
19			磁器(壺)	カゴ島神宮にて 高尺1.66 胴直径 1.11 口径0.85 胴マワリ3.73 底 部径0.65 首ノマワリ1.08 底マワ リ 1.77 口ノアツサ0.06	鹿児島神宮	霧島市隼人町宮内
20	3	5	磨製石斧	五日, 日當山, 大正館にて 始良郡隼 人町 藺田新太郎氏よりいただく (黒色磨製) 始良郡ハヤト町大字日當 山より出ル		霧島市隼人町
21	3	4	城	四日, 市外唐湊, 木脇愛次郎氏邸後方 の丘上にて 城(キ), 濠, サクラジマ	唐湊二本松	鹿児島市
22	3	4	唐湊丘上より	四日 唐湊丘上より	唐湊二本松	鹿児島市
23	3	5	(上) 隼人町を望む (下) 加治木へ向かう	(上) 五日 ハヤト町ヨリノゾム (下) 五日 海岸ニソヒテ カジキへ走ル		
24			風景か			
25			風景	ハヤト城, ゼツペキ マツ 姫城, ゼ ツペキ, マツ, 山, シバ, タケ	27と繋がる	霧島市国分上小川
26			風景	国府デカケ 山ニサシカカル 左八山, 右八岩ニセク谷川		
27			風景	モリ 山 小木 竹	25と繋がる	
28			風景	谷川, イワ, ヤブ, スギ		
29			(右) 板碑 (左) 五輪塔	(右) アイラ郡 稲葉崎 栗野村 (左) 貞治三年		始良郡湧水町稲葉崎
30			五輪塔と板碑群		31と繋がる	始良郡湧水町稲葉崎
31			五輪塔と板碑群	五リンノ塔	30と繋がる	始良郡湧水町稲葉崎
32			田の神	菱刈 田の神 九月, 正月ノ十六日に お化粧スル, シュヌリ, 石		伊佐市菱刈
33			(上) 縄文土器片 (下) 土師器	(上) 黒色 ソト側赤色ノ土器破片 (下) 赤色土器		
34			土師器甕(?)	赤色土器		

鳥居龍蔵の鹿児島調査関係スケッチ帳

図番号	月	日	名 称	書 き 込 み	備 考	現在の市町村名
35			風景	菱刈村舞ノ峰 土器ノツボ（人形ノイリタル）デル		伊佐市菱刈
36			須恵器（壺）	大口町小学校にて 三時、埴輪入壺（大口村里成就寺墓地にて発見、明治四十二年 五月）		伊佐市大口里
37			磨製石斧	大口町		伊佐市大口里
38			（左上）打製石斧 （他）磨製石斧	大口町		伊佐市大口里
39			（上）諏訪野地下式古墳 （下）礎石（？）	里諏訪野		伊佐市大口里字諏訪野
40			諏訪野地下式古墳	穴の高サ=4尺5寸 古墳地底ヨリ地上マデ=7尺6寸 ツルハシノ幅1寸7分 石八三枚カサナル 数個アリ		伊佐市大口里字諏訪野
41			磨製石斧			
42			磨製石斧			
43			（左）磨製石斧 （右）環状石斧	菱刈村山田ニテ発見サル		伊佐市菱刈前目
44			磨製石斧			
45			（左）打製石斧 （右）磨製石斧	牛尾校		
46			磨製石斧			
47			磨製石斧			